

令和4年4月1日

お知らせ

公益社団法人 京都市観光協会 (DMO KYOTO)
公益財団法人 京都文化交流コンベンションビューロー

京都市観光協会データ月報 (2022年2月) について

このたび、京都市観光協会データ月報 (2022年2月) をとりまとめましたのでお知らせします。今回のホテル統計の対象施設数は103軒、旅館統計の対象施設数は31軒です。

2月の調査結果のポイント

ホテル統計

2月の客室稼働率は32.1%と前年同月を上回るも、オミクロン株感染拡大の影響で2ヶ月連続で30%台に

京都市内主要ホテル103施設における2022年2月の客室稼働率は32.1%となり、前月(1月)の32.9%と同水準となった。前年同月の19.6%からは12.5ポイント増となった。1月下旬から続いたまん延防止等重点措置が各地に適用された影響で、2ヶ月連続で30%台と低迷した。コロナ禍前の2019年同月の78.5%からは46.4ポイント減となった(P12)。

2月の日本人延べ宿泊数の2019年同月比は、コロナ禍以前からの対象施設のみで比較すると41.4%減

2月の日本人延べ宿泊数は241,185泊となり、前月(1月)の277,651泊からは13.1%減となった。調査対象施設数の変化を考慮しない場合、前年同月比は98.2%増、2019年同月比は0.6%増となった。コロナ禍以前から調査対象かつ開業済みであった施設のみ(53施設)で比較すると、前年同月比は77.1%増、2019年同月比は41.4%減となった(P8)。

2月の外国人延べ宿泊数の2019年同月比は、コロナ禍以前からの対象施設のみで比較すると99.7%減

外国人延べ宿泊数は前年同月比31.2%増、2019年同月比99.6%減(コロナ禍前からの調査対象施設のみで比較すると99.7%減)となり、外国人宿泊客がほぼゼロの状態となって、もうすぐ2年が経とうとしている(P8)。

平均客室単価、客室収益指数ともにコロナ禍前を下回り続けており、ホテルにとって厳しい経営環境が続く

2月の平均客室単価は10,546円となり、前年同月の10,819円からは2.5%減となった。2019年同月の12,631円からは16.5%減となった。客室収益指数(平均客室単価に客室稼働率を乗じた指標で、1室あたりの売上高に相当する)は3,385円となり、前年同月の2,121円から59.6%増、2019年同月の9,915円からは65.9%減となった。価格は前年を下回ったものの稼働率が改善したことで、客室収益指数は前年を上回った。しかしながら、コロナ禍前を大きく下回る状況は変わらず、ホテルにとって厳しい経営環境が続く(P14)。

旅館統計

2月の旅館の客室稼働率は14.9%となり、前月の18.8%からさらに下落した

市内主要旅館31施設における稼働率は14.9%となり、前月(1月)の18.8%からさらに下落した。前年同月の4.3%からは10.7ポイント増となったものの、2年連続で低水準となった(P17)。

月間20日以上休業した施設は約4割、販売可能客室数は本来の半分以下にまで減少

月間20日以上休業した施設が約4割を占めた。販売可能客室数は、本来販売可能であったと考えられる客室数(約2.1万室)の46.6%であった。前月に引き続き、需要が落ち込んだことで、休業日を設ける施設が増えた(P17)。

「行こう指数」は前年同月を上回っているものの、前年夏頃の水準にまで下落しており、旅行需要は減退している

「行こう指数」の2022年2月の値は77.4（2019年の平均値を100とした場合）となり、前月（1月）の76.9と同水準となった。前年同月を大きく上回っているものの、昨年12月から下落が続いている（P22）。

宿泊施設数は減少傾向が続くが、総客室数は今年に入り若干増加し、前年同月と同水準を維持している

2022年2月末時点の京都市内における営業許可を受けた宿泊施設の施設数は、13件開業、28件廃業、差し引き15件減少して3,596件となり、前年同月の3,801件からは5.4%の減少となった。総客室数（営業許可ベース）は推定55,671室となり、2ヶ月連続で増加したものの、前年同月の55,846室からは0.3%の減少となった（P24）。

日帰り客を含めた動向は前年同月と同水準となったが、コロナ禍前の状況を大幅に下回った

2022年2月の来街者指数は57.0（2019年の平均値を100とした場合）となった。これは前年同月の59.0と同水準である。コロナ禍前である2019年同月の88.2からは31.2ポイント減となった。客室稼働率が前年同月から12.5ポイント増であったこととの乖離の要因のひとつとして、観光目的でない大学入試などの宿泊需要の存在が考えられる（P25）。

市内4百貨店の総売上額は前年同月を上回ったが、免税売上額の低迷が続く

2月の市内4百貨店の総売上額は前年から0.7%増となったが、コロナ禍前の2019年同月比では38.6%減となった。また免税売上額の前年同月比は3.8%減、2019年同月比では94.3%減となり、依然として低水準である（P27）。

観光案内所の相談者数は前年同月を上回ったが、コロナ禍前を大きく下回る状況が続く

2月の相談者数は、前月（1月）から30.0%減となったものの、前年同月比では31.0%増となった。来街者指数と傾向が異なり相談者が増えているのは、まん延防止等重点措置の影響でイベントの催行や店舗の営業状況を確認したい観光客が多かったためではないかと考えられる。なお、相談者数の2019年同月比は86.8%減となり、外国人観光客不在の影響は大きい（P28）。

今後の見通し

3月の主要ホテル客室稼働率の予測値は37.0%に留まる。4月以降の先行きは不透明だが、宿泊キャンペーン等の拡大で上振れする可能性が高い

主要ホテル客室稼働率の2月時点の予測値は、例年繁忙期となる3月でも37.0%に留まる見込みである。4月は24.5%、5月も36.0%に留まっており、先行きの不透明さから予約が滞っていると考えられる。しかしながら、京都府民を対象にした宿泊キャンペーンが3月22日から再開されており、感染状況の落ち着きが続けば、稼働率が上向く可能性が高い（P12）。

宿泊予約サイトにおける販売価格は、桜の開花時期は高水準になっていたが、GWは前年同期と比較して下落

京都市内宿泊施設の客室販売価格は、桜の開花が始まる3月下旬の販売価格の中央値は30,000円を超える高水準となっていた。一方で、ゴールデンウィーク期間の販売価格は18,000円台に留まっており、前年同時期と比較して価格の下落傾向が続く見込みである（P20）。

諸外国では急速に入国制限緩和が進んでおり、日本でも3月から観光目的以外の外国人の入国が可能に

世界各国では隔離制限や入国後検査の撤廃など、入国制限の緩和が急速に進んでいる。日本でも3月からビジネス目的や留学生らの入国が認められ、1日あたりの入国者数も7000人に引き上げられた。Google社によると、全世界における国際旅行に関する2月の潜在需要（航空および宿泊需要の検索動向の指数）は、2019年同月比で3.3%増と、旅行需要が急激に高まっていることが分かる。しかしながら、ウクライナの情勢次第では、航空運賃に大きな影響を与える原油価格や、旅行先での消費力を左右する為替レートが変動し、回復に歯止めがかかる可能性もある（P23）。

参考：新型コロナウイルス感染症に伴う緊急事態宣言等の期間（京都・東京）

時期	京都	東京	
2020年	4月	緊急事態宣言（1回目） 4月16日～5月21日	緊急事態宣言（1回目） 4月7日～5月25日
	5月		
	6月	他府県への移動自粛 5月22日～6月19日	他府県への移動自粛 5月26日～6月19日
	7月		
	8月	GoToトラベル キャンペーン 7月22日～12月27日	
	9月		
	10月		GoToトラベルキャンペーン 10月1日～12月27日
	11月		※東京が目的地 12月18日～12月27日
	12月		まで一時停止。
2021年	1月	緊急事態宣言（2回目） 1月14日～2月28日	緊急事態宣言（2回目） 1月8日～3月21日
	2月		
	3月		
	4月	まん延防止等重点措置 4月12日～4月24日	まん延防止等重点措置 4月12日～4月24日
	5月	緊急事態宣言（3回目） 4月25日～6月20日	緊急事態宣言（3回目） 4月25日～6月20日
	6月		
	7月	まん延防止等重点措置 6月21日～7月11日	まん延防止等重点措置 6月21日～7月11日
	8月	まん延防止等重点措置 8月2日～8月19日	緊急事態宣言（4回目） 7月12日～9月30日
	9月	緊急事態宣言（4回目） 8月20日～9月30日	東京五輪 7月23日～8月8日 オリンピック 8月24日～9月5日 パラリンピック
	10月		
2022年	1月		
	2月	まん延防止等重点措置 1月27日～3月21日	まん延防止等重点措置 1月21日～3月21日
	3月		
4月	きょうと魅力再発見旅プロジェクト 3月22日～4月28日※京都府民限定		

出所）京都市 HP、東京都 HP、GoTo ト ラベル HP 等を参考に京都市観光協会で作成

調査概要	5
(1) 全体概要.....	5
(2) 調査対象.....	5
(3) 分析数値.....	5
(4) 新型コロナウイルス感染症の拡大等に伴う臨時的な休業の扱いについて.....	5
(5) データ分析用ダッシュボードの提供について.....	6
(6) その他.....	7
ホテル統計	8
(1) 主要指標の一覧.....	8
(2) 延べ宿泊数 前年同月比の推移.....	10
(3) 客室稼働率・外国人比率の推移.....	12
(4) 国・地域別の延べ宿泊数 構成比.....	13
(5) 国・地域別の延べ宿泊数 前年同月比（単位 %）.....	13
(6) 平均客室単価および客室収益指数.....	14
6-1. 調査対象施設の一部における主要経営指標.....	14
6-2. 2022年2月の主要都市別主要経営指標（出典：STR）.....	15
旅館統計	17
(1) 主要指標の一覧.....	17
(2) 販売可能客室数・稼働率の推移、延べ宿泊数の前年同月比の推移.....	18
市場環境全般	20
(1) 宿泊予約サイトにおける12週間先までの客室販売価格の推移.....	20
(2) 京都観光意向指数（通称：行こう指数）.....	22
2-1. 日本人の訪問意向.....	22
2-2. 外国人の国際旅行意向.....	23
(3) 京都市内の宿泊施設数・客室の推移.....	24
(4) ビッグデータにもとづく京都市内の人流・滞在状況.....	25
4-1. 市内来街者数の実績.....	25
4-2. 年代別の分布.....	26
(5) 京都市内4百貨店における免税売上げ.....	27
(6) 京都総合観光案内所（京なび）利用者数 ※JR京都駅ビル2階.....	28
(7) 京都府内の新型コロナウイルス感染症 重症者病床使用率.....	29
(8) 国際線の航空定期路線の座席数の推移.....	30
(9) 為替レートの推移.....	31
京都103ホテル宿泊状況調査結果 集計表（2022年2月）.....	32

(1) 全体概要

- 京都市内における日本人および外国人の宿泊状況等をタイムリーに把握できるよう、平成 26 年（2014 年）4 月以降、京都市内の主な宿泊施設の協力を得て、国・地域別の調査（「実人数」「延べ泊数」「延べ部屋数」）を毎月実施。※全国で唯一の取組（京都市観光協会調べ）。
- なお、本調査では、ビジネス、観光を問わず、日本国籍以外のパスポートを有する人すべてを「外国人」として定義しています。

(2) 調査対象

2022 年 2 月時点	ホテル		旅館	
	施設数	客室数	施設数	客室数
調査対象	103	18,177	31	756
市内全体※1	321	34,945	367	5,311
カバー率	32.1%	52.0%	8.4%	14.2%

- ※1 平成 30 年の旅館業法改正にともないホテル・旅館の区分が廃止されたため、市内全体におけるホテルの施設数および客室数は、区分が廃止される直前までの旅館の数値に変動が無いものと仮定して算出している。
- ※2 前年と本年では対象施設数が異なる場合があるため、今回発表する前年の数値は昨年と異なる。
- ※3 P15 の客室収益指数 (RevPAR) 等の数値は、ホテルデータサービス会社 STR（本社：イギリス・ロンドン）からの提供によるもので、上記ホテル施設数とは対象が一部異なる。

(3) 分析数値

「販売可能客室数」…日々販売されている客室数の月間累積値を示す。

例) 100 部屋を有する施設にて、20 室が改装工事中、80 室を 30 日間販売していた場合
販売可能客室数：80 室×30 日=2,400 室

「客室稼働率」… 「販売可能客室数」における「稼働客室数」の割合

「外国人比率」… 「総延べ人数」における「外国人延べ人数」の割合

「構成比」… 「外国人延べ人数」における「各国・地域の延べ人数」の割合

「伸率」… 「前年の各国・地域の延べ人数」に対する「本年の各国・地域の延べ人数」の伸率

(4) 新型コロナウイルス感染症の拡大等に伴う臨時的な休業の扱いについて

調査対象期間（2022 年 2 月 1 日～2 月 28 日）中、対象施設が臨時的に休業した場合は、通常営業していた期間のみを対象にして客室稼働率を算出します。

例) 100 部屋を有する施設が、以下のように営業をしていた場合

- ① 2 月 1 日～10 日期間（10 日）は 100 室のまま通常営業し、利用のあった客室数は 200 室
- ② 2 月 11 日～20 日期間（10 日）は 50 室に絞って営業し、利用のあった客室数は 100 室
- ③ 2 月 21 日～28 日の期間（8 日）は休業

販売可能客室数： 100 室×10 日（①期間）+ 50 室×10 日（②期間） = 1,500 室


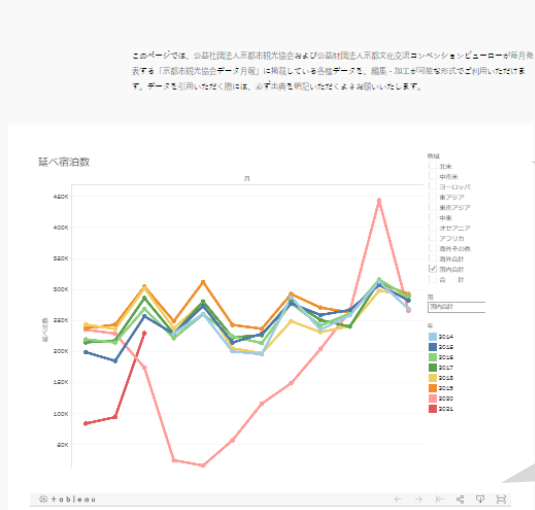
客室稼働率： 利用のあった客室数 300 室 ÷ 営業期間中の販売可能客室数 1,500 室 = 20%

調査対象施設における 2022 年 2 月（2 月 1 日～2 月 28 日）の臨時休業状況

臨時休業日数	全日休業 (28 日間)	20 日以上 ～28 日未満	10 日以上 ～20 日未満	10 日未満	休業なし
ホテル施設数	4 (3.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	99 (96.1%)
旅館施設数	4 (12.9%)	9 (29.0%)	2 (6.5%)	3 (9.7%)	13 (41.9%)

(5) データ分析用ダッシュボードの提供について

これまでデータ月報で発表してきた各種データを、自由に分析・加工していただける機能（Tableau ダッシュボード）を、京都市観光協会ウェブサイト内にて提供しております。

<p>利用方法</p>	<p>毎月のデータ月報発表ページ下部に、当該機能を利用するための案内メニューを掲載します。案内に従って料金をお支払いいただくと、ダッシュボードの URL とパスワードをお知らせいたします。 京都市観光協会の会員、および京都文化交流コンベンションビューローの賛助会員は無料にてご利用いただけます。同じページ内に設置する専用フォームから、お申込みください。ご入会については、公式ウェブサイトからご確認ください。</p>
<p>料金</p>	<p style="text-align: center;">月額 490円（税込）</p> <p>なお、毎月の利用権はデータ月報が発表される日にリセットされます（最新月のデータの追加と同時に、URL とパスワードを変更します）。毎月末頃の発表日直前にご購入いただいた場合、発表後に改めて翌月分のご購入をいただく必要がありますので、ご注意ください。</p>
<p>利用可能なデータ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 延べ宿泊数、実宿泊客数、稼働客室数の 前年同月比の月次推移 ● 客室稼働率、外国人比率の月次推移 ● 1 部屋当たり宿泊客数、1 人当たり宿泊日数の月次推移 ● 国・地域別の延べ宿泊数の 前年同月比の月次推移 ● 平均客室単価および客室収益指数の月次推移 ● 行こう指数の月次推移 ● 市内開業宿泊施設の位置情報（Google マイマップ）
<p>分析画面のイメージ</p>	<div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 20px;"> <p>京都市観光協会の公式サイト上で利用することができます。ログインにはパスワードが必要です。</p> </div> </div> <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 20px;">  <div style="margin-left: 20px;"> <p>分析項目によっては、年月などの時点や、国籍・地域などで絞り込んだ表示切替を瞬時に行うことができます。</p> <p>Excel 形式等でダウンロードすることができ、用途に合わせて自由に分析、デザイン加工などをしていただくことができます。</p> </div> </div>

(6) その他

- 京都市観光協会データ月報は、調査対象施設のみなさまのご協力、ならびに京都市観光協会会員および京都文化交流コンベンションビューロー賛助会員からの会費をもとに運営しております。
- 本資料の数値を引用する場合は、「出典：京都市観光協会データ月報」を明示してください。ただし、P15のSTRデータについては、STRの書面による許諾を伴わない再出版もしくは二次使用は固く禁じられています。報道・メディア媒体への掲載については、(公社)京都市観光協会(担当：堀江)までお問合せください。
- 各種数値は、データ提供元である宿泊施設等からの訂正等により、後日予告なく修正される場合があります。原則として、後から発表される数値を正しいものとして利用いただくようお願いいたします。
- 京都市全体の観光動向の把握については、ほぼすべての市内宿泊施設(旅館業法許可施設)を対象とする「京都観光総合調査」(京都市から年1回発表)が基本指標となります。当調査は、インバウンドマーケットの傾向を把握するための、京都市内の主な宿泊施設を対象とする標本調査であるため、その他ホテルや旅館、簡易宿所、いわゆる「民泊」等に宿泊した外国人客は含まれておらず、訪日外客数(日本全体)との比較等も参考分析という位置づけとなります。

<本件に関する問い合わせ先>

公益社団法人京都市観光協会

TEL : 075-213-0070 e-mail : marketing@kyokanko.or.jp

担当 : 企画推進課 神田、堀江

ホテル統計

(1) 主要指標の一覧

指標	2022年 2月	2021年 2月	2020年 2月	2019年 2月	前年同月 伸率・差	前々年 同月 伸率・差	2019年 同月 伸率・差
調査・集計時点	2022年2月	2022年2月	2021年2月	2020年2月	—	—	—
調査対象施設数	103	103	68	58	—	—	—
販売可能客室数	503,387室	427,216室	357,744室	322,099室	△17.8%	△40.7%	△56.3%
稼働客室数	161,687室	83,929室	192,974室	252,720室	△92.6%	▼16.2%	▼36.0%
客室稼働率	32.1%	19.6%	53.9%	78.5%	△12.5pts	▼21.8pts	▼46.4pts
日本人延べ宿泊数	241,185泊	121,718泊	226,455泊	239,795泊	△98.2%	△6.5%	△0.6%
外国人延べ宿泊数	897泊	683泊	93,502泊	204,309泊	△31.2%	▼99.0%	▼99.6%
総延べ宿泊数	242,081泊	122,401泊	319,957泊	444,104泊	△97.8%	▼24.3%	▼45.5%
外国人比率	0.4%	0.6%	29.2%	46.0%	▼0.2pts	▼28.9pts	▼45.6pts
1部屋当たり宿泊客数	1.50人	1.46人	1.66人	1.76人	△0.04人	▼0.16人	▼0.26人
1人当たり宿泊日数	1.65泊	1.66泊	1.72泊	1.66泊	▼0.02泊	▼0.07泊	▼0.01泊

注) 2019年2月の数値は、2020年2月調査時に「前年の値」として回答のあった数値であり、当年(2022年2月)の調査対象施設とは異なる場合があるため、比較する際には注意が必要。

2020年2月時点の調査対象施設の中で、2019年2月開業済施設のみに絞った場合の主要指標

指標	2022年 2月	2021年 2月	2020年 2月	2019年 2月	前年同月 伸率・差	前々年 同月 伸率・差	2019年 同月 伸率・差
調査・集計時点	2022年2月	2022年2月	2021年2月	2020年2月	—	—	—
調査対象施設数	53	53	53	53	—	—	—
販売可能客室数	320,727室	284,556室	325,061室	316,387室	△12.7%	▼1.3%	△1.4%
稼働客室数	91,204室	53,427室	177,893室	248,387室	△70.7%	▼48.7%	▼63.3%
客室稼働率	28.4%	18.8%	54.7%	78.5%	△9.6pts	▼26.3pts	▼50.1pts
日本人延べ宿泊数	139,400泊	78,696泊	209,639泊	237,702泊	△77.1%	▼33.5%	▼41.4%
外国人延べ宿泊数	577泊	420泊	87,837泊	199,001泊	△37.3%	▼99.3%	▼99.7%
総延べ宿泊数	139,976泊	79,116泊	297,476泊	436,703泊	△76.9%	▼52.9%	▼67.9%
外国人比率	0.4%	0.5%	29.5%	45.6%	▼0.1pts	▼29.1pts	▼45.2pts
1部屋当たり宿泊客数	1.53人	1.48人	1.67人	1.76人	△0.05人	▼0.14人	▼0.22人
1人当たり宿泊日数	1.55泊	1.66泊	1.72泊	1.65泊	▼0.11泊	▼0.18泊	▼0.11泊

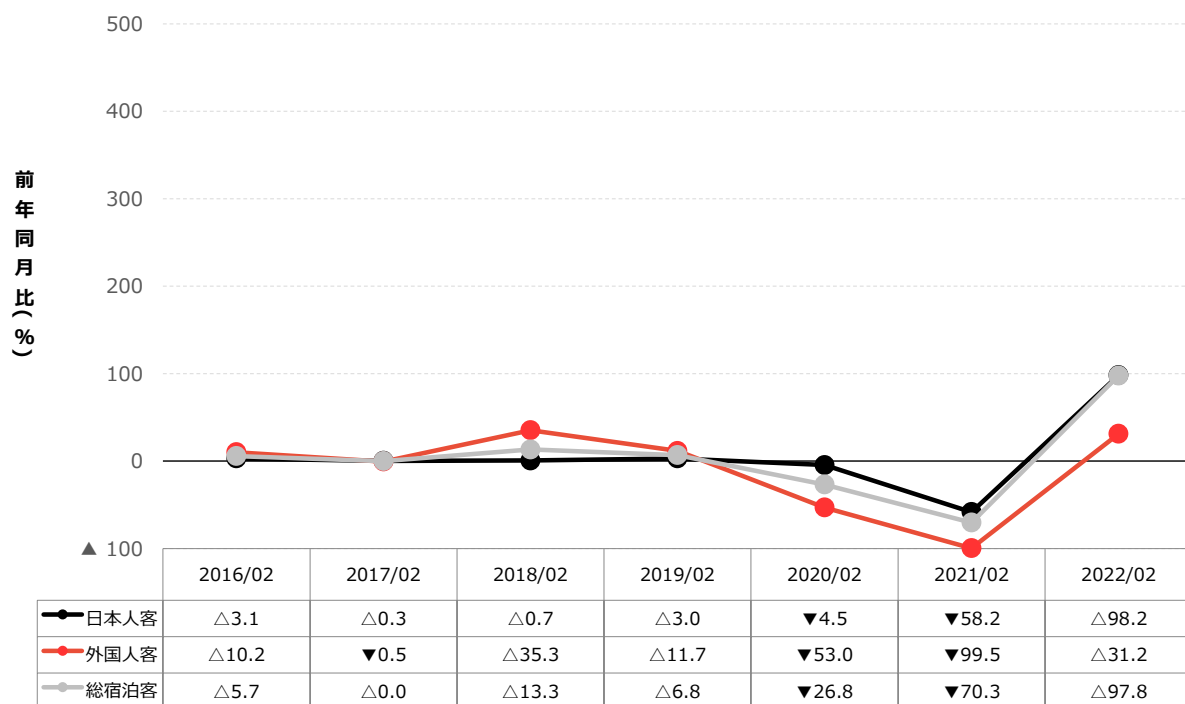
【参考】京都市全体および日本全体との比較（単位 %）

年	月	客室稼働率			延べ宿泊数 前年比			延べ宿泊数 外国人比率		
		ホテル 統計	京都市 全体	日本 全体	ホテル 統計	京都市 全体	日本 全体	ホテル 統計	京都市 全体	日本 全体
2020	1	66.8	57.3	62.3	△2.9	△89.8	△11.1	49.1	43.9	22.5
	2	53.9	49.2	59.9	▼29.3	△27.8	▼14.0	28.6	28.3	13.0
	3	29.3	31.6	35.9	▼64.8	▼33.9	▼53.2	13.8	15.8	4.7
	4	5.7	6.6	17.2	▼94.9	▼89.8	▼80.9	3.8	4.2	2.1
	5	8.1	5.6	13.6	▼97.3	▼92.2	▼84.9	1.2	3.0	1.7
	6	14.6	14.1	24.8	▼89.3	▼76.7	▼68.9	0.9	2.4	1.3
	7	19.9	20.7	32.5	▼78.6	▼59.7	▼58.3	0.5	1.6	1.0
	8	22.8	22.1	34.7	▼74.7	▼53.4	▼58.6	0.4	1.0	0.8
	9	33.0	30.6	40.3	▼61.7	▼33.6	▼46.6	0.4	0.8	0.7
	10	41.0	38.1	48.5	▼54.4	▼26.3	▼35.2	0.3	0.9	0.8
	11	63.2	57.3	52.8	▼22.4	△8.6	▼30.5	0.3	1.2	1.3
	12	37.6	36.9	42.5	▼48.2	▼19.7	▼40.9	0.3	1.1	1.8
2021	1	12.5	14.4	26.2	▼81.4	▼77.3	▼59.9	0.5	2.2	2.6
	2	18.6	19.2	30.5	▼70.0	▼64.9	▼52.9	0.5	0.0	1.2
	3	31.5	32.1	40.2	△8.9	△2.4	△14.0	1.1	2.1	1.0
	4	20.6	20.9	35.8	△385.2	△228.3	△131.2	0.6	0.8	1.0
	5	16.7	13.5	30.1	△421.6	△194.4	△163.0	0.4	0.8	1.2
	6	20.6	18.4	32.4	△93.5	△42.7	△37.6	0.5	0.8	1.2
	7	30.6	28.7	43.4	△82.3	△46.4	△38.6	0.5	0.9	2.5
	8	26.8	25.2	40.5	△30.5	△9.2	△18.5	0.5	1.0	1.9
	9	27.0	24.2	35.2	△12.8	▼30.5	▼13.8	0.5	0.6	1.2
	10	39.1	34.1	46.7	▼2.7	▼19.0	▼2.6	0.5	0.8	0.9
	11	59.6	55.4	54.1	△1.7	▼8.0	△5.4	0.5	0.7	0.9
	12	55.3	48.2	54.1	△55.4	△36.8	△40.0	0.4	0.7	0.8
2022	1	32.9	-	-	△183.1	-	-	0.3	-	-
	2	32.1	-	-	△97.8	-	-	0.4	-	-

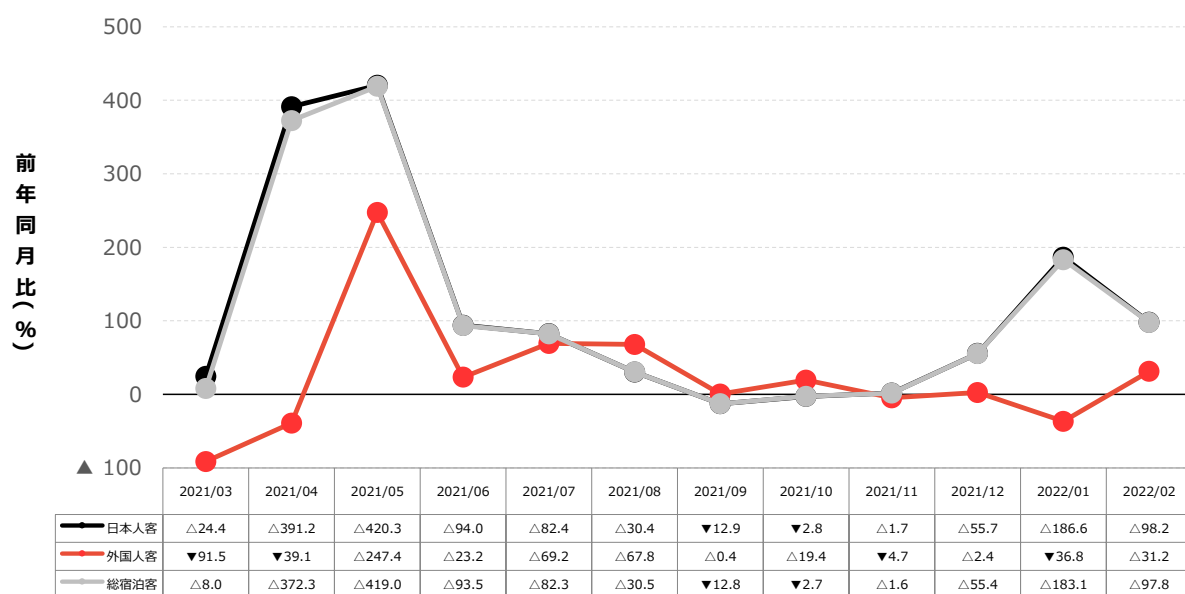
注) 京都市全体および日本全体の値は、観光庁 宿泊旅行統計 2次速報値をもとに集計

(2) 延べ宿泊数 前年同月比の推移

延べ宿泊数の前年同月比 年次推移

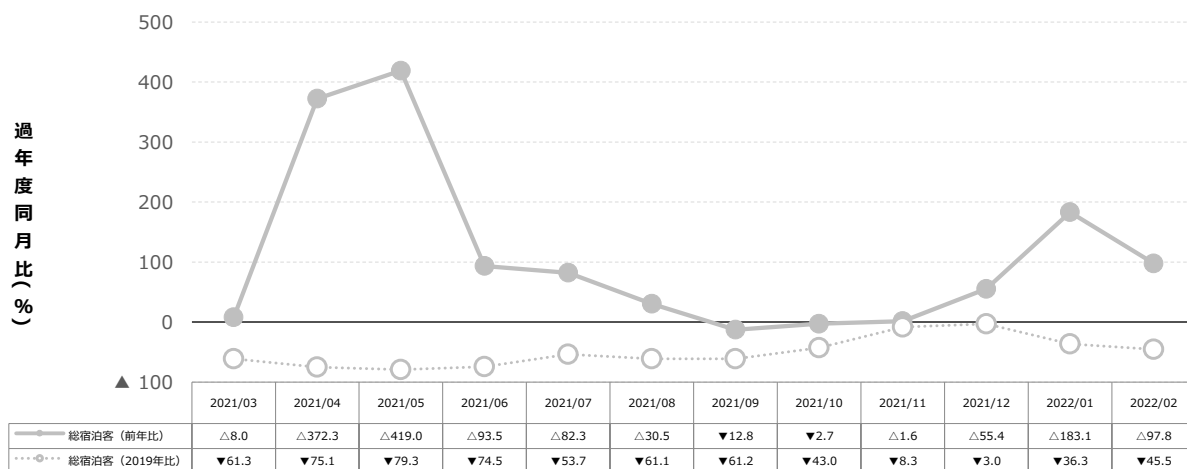


延べ宿泊数の前年同月比 直近 12 カ月 月次推移

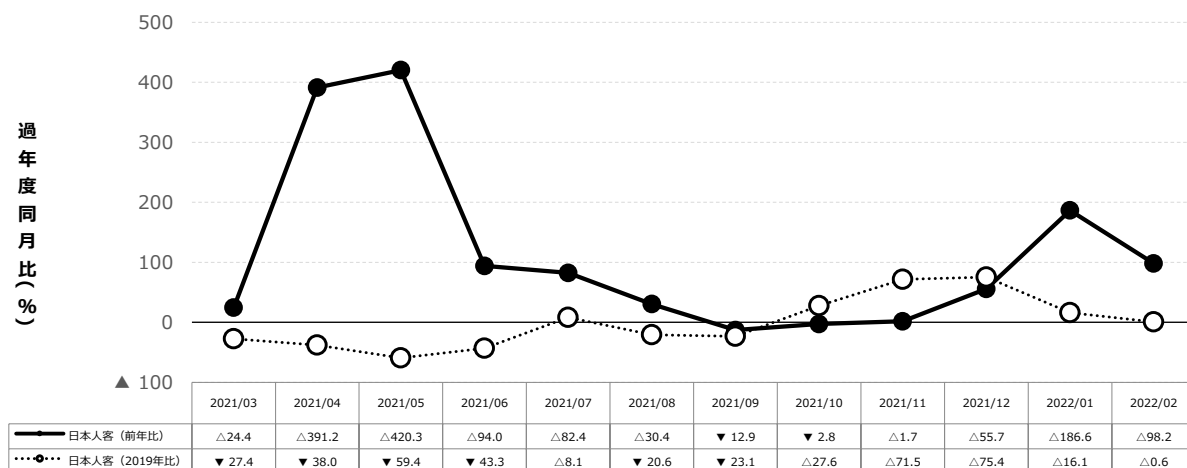


【参考】2019年との比較

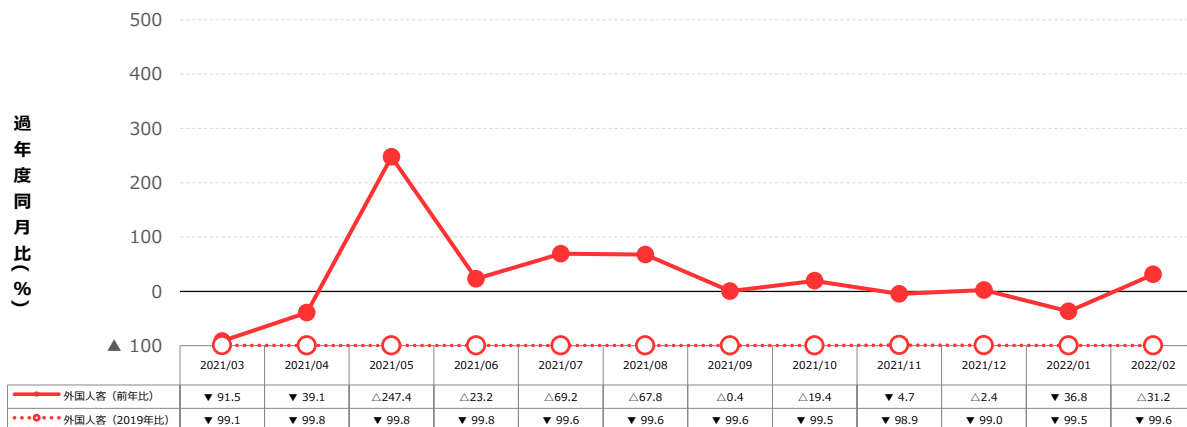
総延べ宿泊数の2019年同月比 月次推移



日本人延べ宿泊数の2019年同月比 月次推移

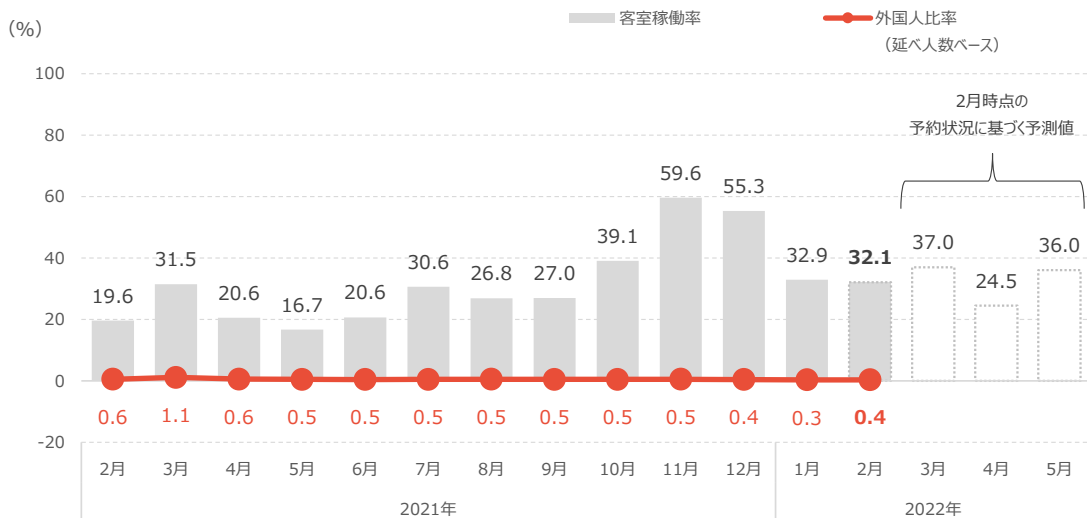
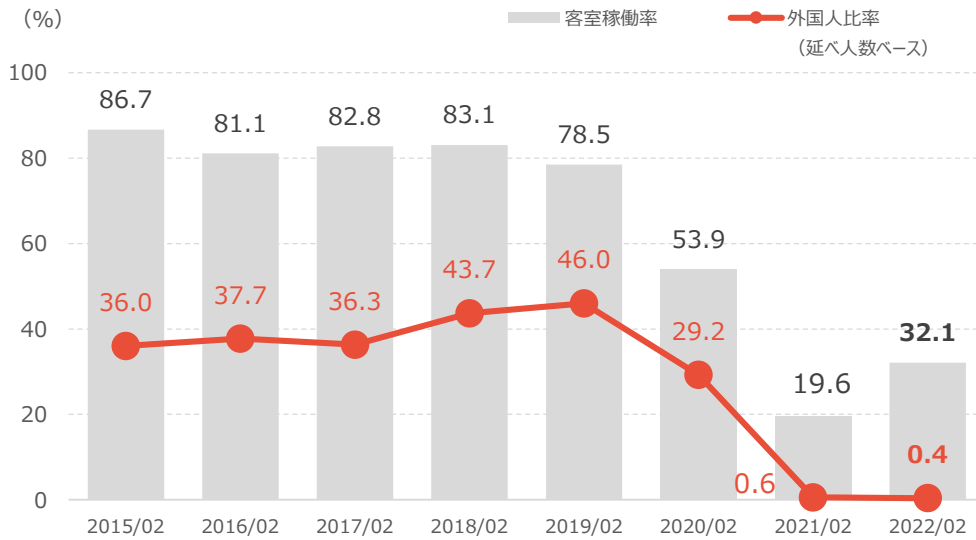


外国人延べ宿泊数の2019年同月比 月次推移



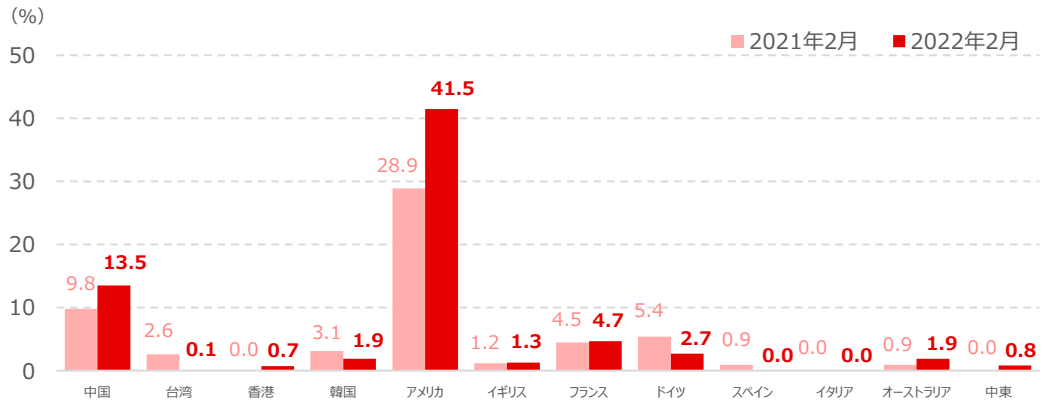
(3) 客室稼働率・外国人比率の推移

- 京都市内主要ホテル施設における 2022 年 2 月の客室稼働率は 32.1%となり、前月（1月）の 32.9%からは 0.8 ポイント減、前年同月の 19.6%からは 12.5 ポイント増となった。2 回目の緊急事態宣言が発出された昨年よりは回復したものの、今年も 1 月下旬から各地でまん延防止等重点措置が適用され始めた影響を受け、1 月に引き続き低水準となった。コロナ禍前の 2019 年同月の 78.5%からは 46.4 ポイント減となった。
- 2 月時点の客室稼働率の予測値では、例年繁忙期となる 3 月でも 37.0%に留まる見込みである。4 月は 24.5%、5 月も 36.0%に留まっており、先行きの不透明さからか予約が滞っていると考えられる。しかしながら、京都府民を対象にした宿泊キャンペーンが 3 月 22 日から再開されており、このまま感染状況の落ち着きが続けば、稼働率が上向き可能性が高い。

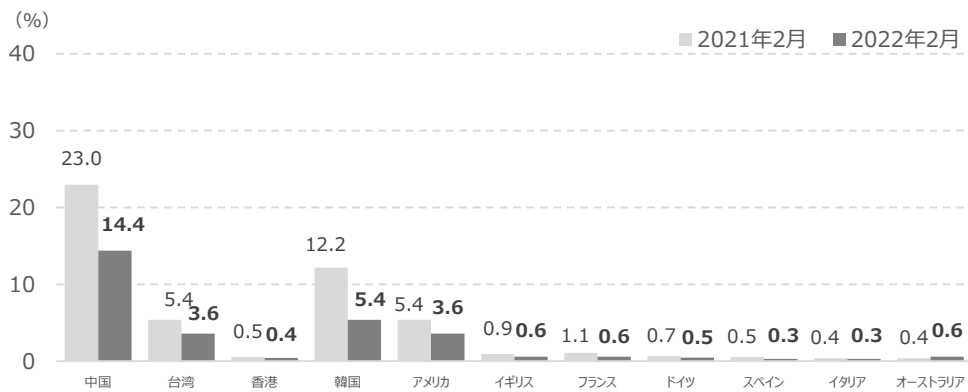


注) 客室稼働率の予測は、調査対象施設の一部における「1カ月後」「2カ月後」「3カ月後」の客室予約状況の前年比データを 2017 年から収集し、実際の客室稼働率と照らし合わせることで、予測モデルを作成して算出している。

(4) 国・地域別の延べ宿泊数 構成比



【参考】訪日外客数・構成比 (国・地域別) (実人数) 出典：日本政府観光局 (JNTO)



(5) 国・地域別の延べ宿泊数 前年伸率・2019年伸率 (単位 %)

	京都主要ホテル		訪日外客 (JNTO)	
	前年伸率	2019年伸率	前年伸率	2019年伸率
中国	△ 80.60	▼ 99.86	△ 41.18	▼ 97.25
台湾	▼ 94.40	▼ 100.00	△ 50.00	▼ 99.73
香港	△ 100.00	▼ 99.94	△ 75.00	▼ 99.94
韓国	▼ 19.00	▼ 99.87	△ 0.00	▼ 99.37
アメリカ	△ 88.10	▼ 97.34	△ 50.00	▼ 99.18
イギリス	△ 50.00	▼ 99.68	△ 42.86	▼ 99.46
フランス	△ 35.50	▼ 98.30	△ 25.00	▼ 99.42
ドイツ	▼ 35.10	▼ 98.44	△ 60.00	▼ 99.27
スペイン	▼ 100.00	▼ 100.00	△ 25.00	▼ 98.84
イタリア	△ 0.00	▼ 100.00	△ 66.67	▼ 98.94
オーストラリア	△ 183.30	▼ 99.80	△ 233.33	▼ 99.79
中東	△ 100.00	▼ 98.98	未発表	未発表

(6) 平均客室単価および客室収益指数

6-1. 調査対象施設の一部における主要経営指標

- 2月の平均客室単価は10,546円となり、前年同月の10,819円からは2.5%減、2019年同月の12,631円からは16.5%減となった。
- 客室収益指数（平均客室単価に客室稼働率を乗じた指標で、1室あたりの売上高に相当する）は3,385円となり、前年同月の2,121円から59.6%増、2019年同月の9,915円からは65.9%減となった。
- 価格は前年同月をわずかに下回ったものの、稼働率が改善したことで、客室収益指数は前年を上回った。とはいえ、コロナ禍前を大きく下回る状況が続いている。

月別の客室平均単価

		本年(円)	前年(円)	前年比(%)	2019年(円)	2019年比(%)
2021年	3月	13,284	12,712	△ 4.5	17,341	▼ 23.4
2021年	4月	12,544	12,932	▼ 3.0	22,519	▼ 44.3
2021年	5月	10,893	10,375	△ 5.0	17,316	▼ 37.1
2021年	6月	9,016	10,614	▼ 15.1	13,478	▼ 33.1
2021年	7月	10,196	10,911	▼ 6.6	13,947	▼ 26.9
2021年	8月	9,030	10,539	▼ 14.3	13,763	▼ 34.4
2021年	9月	8,823	11,455	▼ 23.0	13,081	▼ 32.6
2021年	10月	10,314	12,385	▼ 16.7	16,733	▼ 38.4
2021年	11月	14,703	17,527	▼ 16.1	20,451	▼ 28.1
2021年	12月	12,361	13,351	▼ 7.4	13,728	▼ 10.0
2022年	1月	11,382	11,871	▼ 4.1	12,906	▼ 11.8
2022年	2月	10,546	10,819	▼ 2.5	12,631	▼ 16.5

月別の客室収益指数

		本年(円)	前年(円)	前年比(%)	2019年(円)	2019年比(%)
2021年	3月	4,184	3,725	△ 12.3	14,740	▼ 71.6
2021年	4月	2,581	737	△ 250.1	20,245	▼ 87.3
2021年	5月	1,814	840	△ 115.9	14,390	▼ 87.4
2021年	6月	1,861	1,550	△ 20.1	10,890	▼ 82.9
2021年	7月	3,124	2,171	△ 43.9	10,753	▼ 71.0
2021年	8月	2,423	2,466	▼ 1.7	11,464	▼ 78.9
2021年	9月	2,380	3,769	▼ 36.8	10,844	▼ 78.0
2021年	10月	4,029	5,028	▼ 19.9	14,407	▼ 72.0
2021年	11月	8,758	11,095	▼ 21.1	18,038	▼ 51.4
2021年	12月	6,831	5,340	△ 27.9	10,200	▼ 33.0
2022年	1月	3,745	1,579	△ 137.2	8,466	▼ 55.8
2022年	2月	3,385	2,121	△ 59.6	9,915	▼ 65.9

6-2. 2022年2月の主要都市別主要経営指標（出典：STR）

STRとの契約の都合上、過去のデータについては
非公開とさせていただきます。
何卒ご了承のほどよろしくお願い申し上げます。

STRとの契約の都合上、過去のデータについては
非公開とさせていただきます。
何卒ご了承のほどよろしくお願い申し上げます。

旅館統計

(1) 主要指標の一覧

- 市内主要旅館31施設における稼働率は14.9%となり、前月(1月)の18.8%からさらに下落した。前年同月の4.3%からは10.7ポイント増となったものの、2年連続で低水準となった。

旅館統計

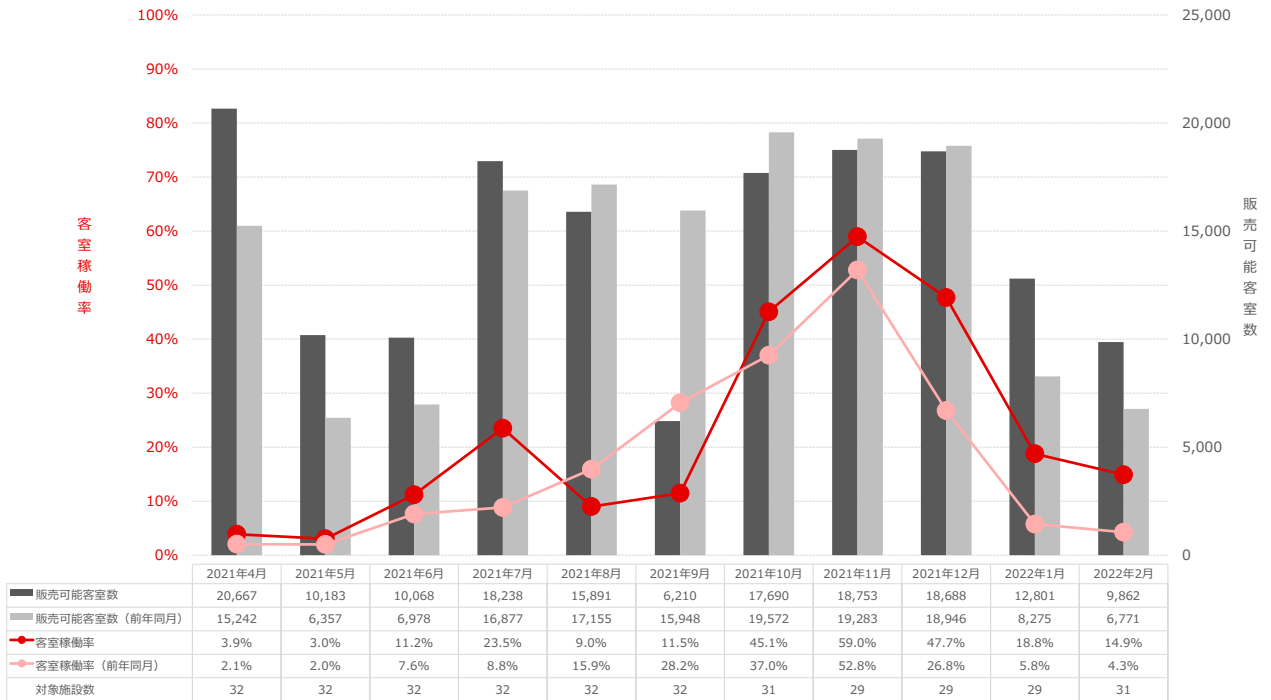
	2022年2月	2022年1月	前月差	前月比	2021年2月	前年同月差	前年同月比
販売可能客室数 (1カ月の延べ数)	9,862	12,801	▼2,939	▼23.0%	6,771	△3,091	△45.7%
稼働客室数(月間)	1,470	2,404	▼934	▼38.9%	288	△1,182	△410.4%
客室稼働率	14.9%	18.8%	▼3.9	▼20.6%	4.3%	△10.7	△250.4%
総延べ宿泊数	4,232	5,838	▼1,606	▼27.5%	586	△3,646	△622.2%
総実宿泊客数	2,568	4,583	▼2,015	▼44.0%	374	△2,194	△587.0%
一部屋当たり客数	2.88	2.43	△0.45	△18.5%	2.03	△0.84	△41.5%
一人当たり宿泊日数	1.65	1.27	△0.37	△29.4%	1.57	△0.08	△5.1%
日本人延べ宿泊数	4,222	5,836	▼1,614	▼27.7%	583	△3,639	△624.2%
日本人実宿泊客数	2,558	4,581	▼2,023	▼44.2%	371	△2,187	△589.8%
一人当たり宿泊日数 (日本人)	1.65	1.27	△0.38	△29.6%	1.57	△0.08	△5.0%
外国人延べ宿泊数	10	2	△8.00	△400.0%	3	△7.00	△233.3%
外国人実宿泊客数	10	2	△8.00	△400.0%	3	△7.00	△233.3%
一人当たり宿泊日数 (外国人)	1.00	100%	△0.00	△0.0%	100%	△0.00	△0.0%
外国人比率	0.2%	0.0%	△0.2	△590%	0.5%	▼0.3	▼54%
価格変動率	▼5.9%	▼5.5%	▼0.44	△8.0%	-	-	-

注) 旅館の価格変動率は、食事無しの素泊まりの場合の価格をもとに算出している

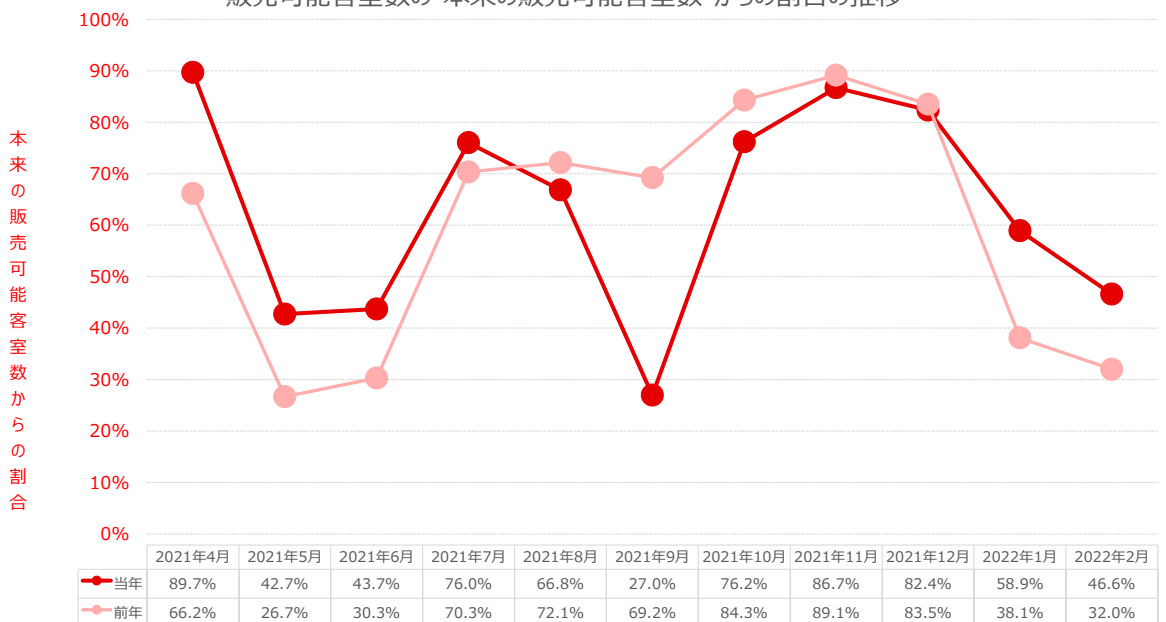
(2) 販売可能客室数・稼働率の推移、延べ宿泊数の前年同月比の推移

- 調査対象施設 31 軒における月間 20 日以上休業した施設が約 4 割を占めた。販売可能客室数は、本来販売可能であったと考えられる客室数（約 2.1 万室）の 46.6%であった。前月に引き続き、需要が落ち込んだことで、休業日を設ける施設が増えた

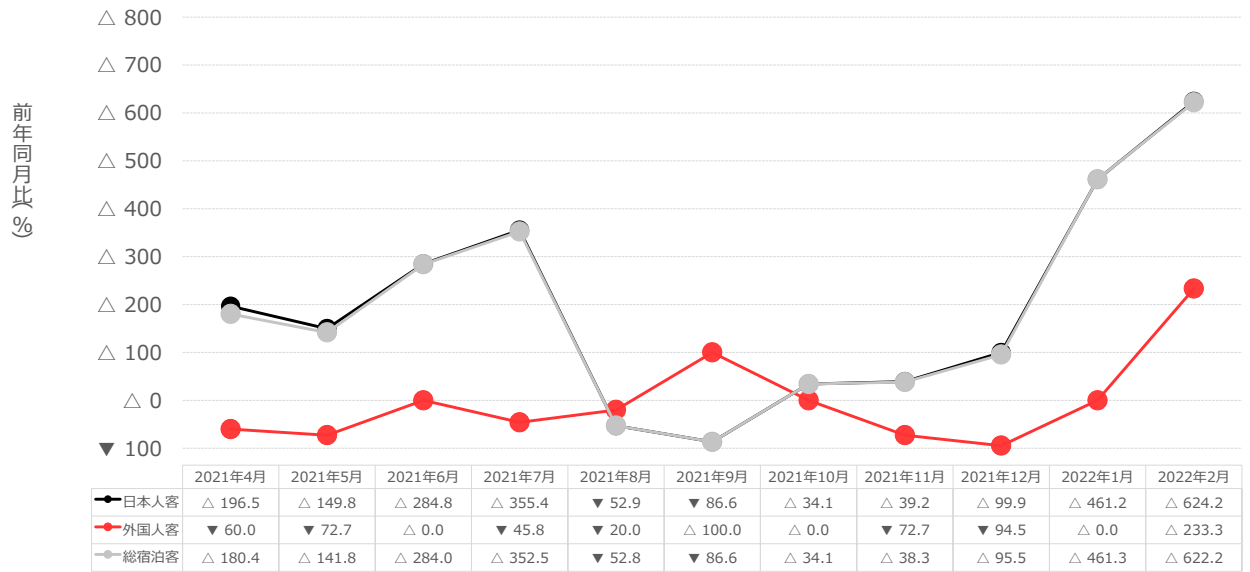
京都市内主要旅館の販売可能客室数・稼働率の推移



販売可能客室数の"本来の販売可能客室数"からの割合の推移



京都市内主要旅館の 延べ宿泊数 前年同月比の推移



(1) 宿泊予約サイトにおける12週間先までの客室販売価格の推移

- 京都市内宿泊施設の客室販売価格は、桜の開花が始まる3月下旬の販売価格の中央値は30,000円を超える高水準となった。一方で、ゴールデンウィーク期間の販売価格は18,000円台に留まっており、前年同時期と比較して価格の下落傾向が続く見込みである。

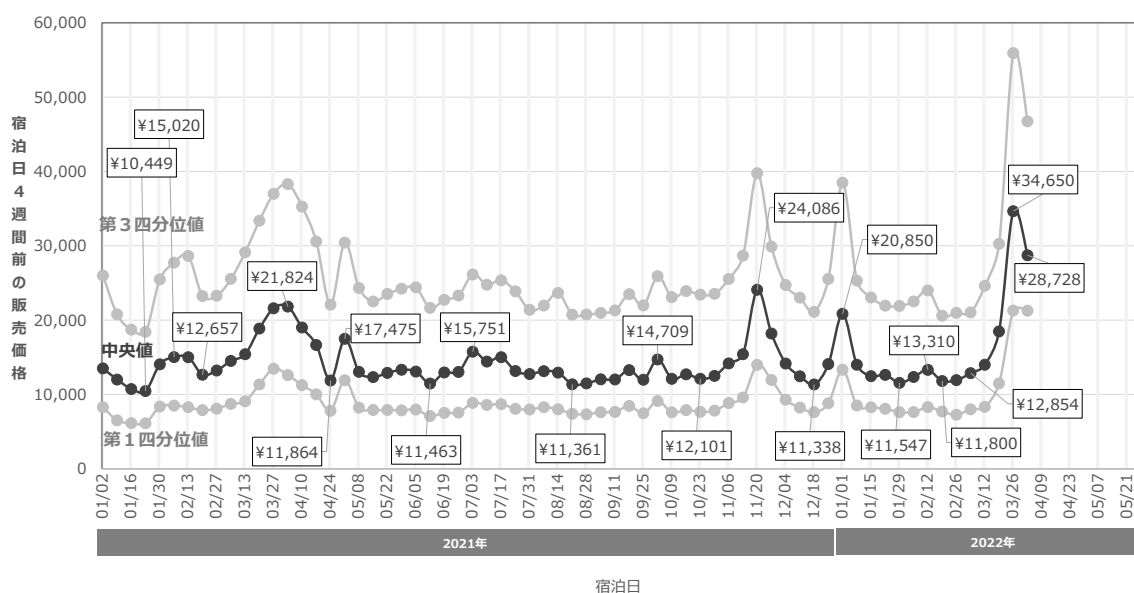
調査期間	概ね毎週火曜日に価格検索を実施 検索日の週末から、12週先の週末までの12回分のデータを取得
調査対象	Booking.comで京都市内のホテル・旅館・簡易宿所等の宿泊施設を検索したときに表示される価格（類似サイトと比較して、データの収集が容易であることからBooking.comを採用）
検索条件	「1室2名食事なし、税抜価格、毎週土曜日にチェックインし翌日の日曜日にチェックアウト」の条件で表示される価格を集計。
集計条件	異常に高額な施設（外れ値）の影響を回避するため、平均値ではなく中央値を算出。 予約サイトに掲載されている価格は、最終的に購入されなかった客室の価格も含まれることになる。一方で、P15のSTR社による平均客室単価（ADR）は、実際に購入された価格をもとに算出される。したがって、これらの値は単純に比較できるものではない。

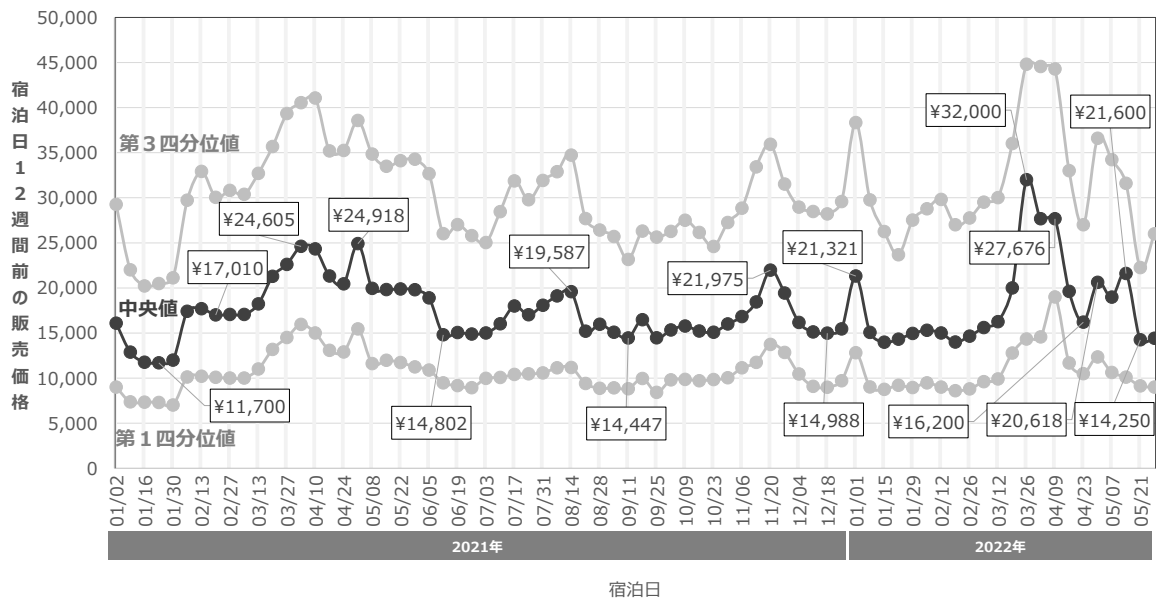
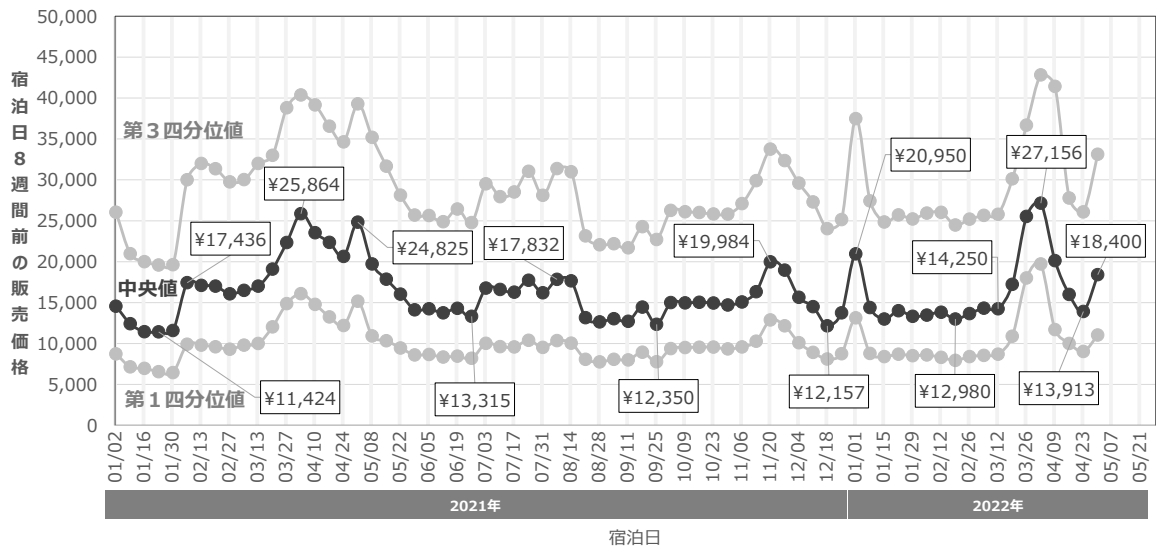
第3四分位値： 価格が低い施設から順番に並べたとき、初めから数えて75%の位置にあたる施設の価格。

中央値： 価格が低い施設から順番に並べたとき、初めから数えて50%の位置にあたる施設の価格。

第1四分位値： 価格が低い施設から順番に並べたとき、初めから数えて25%の位置にあたる施設の価格。

予約サイトにおける客室販売価格の推移





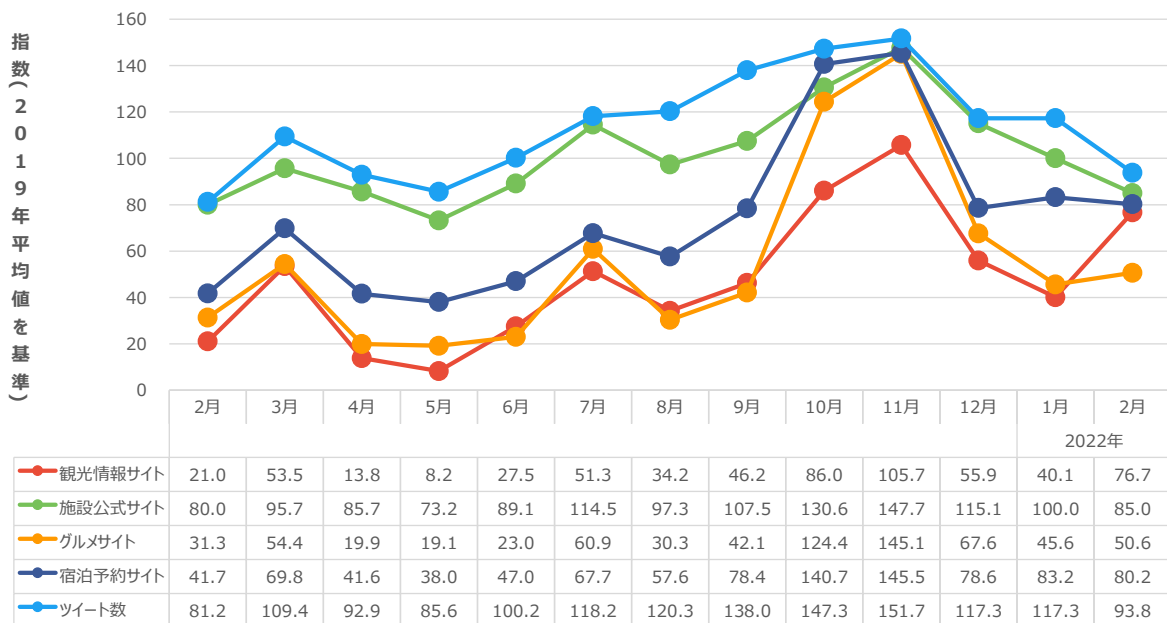
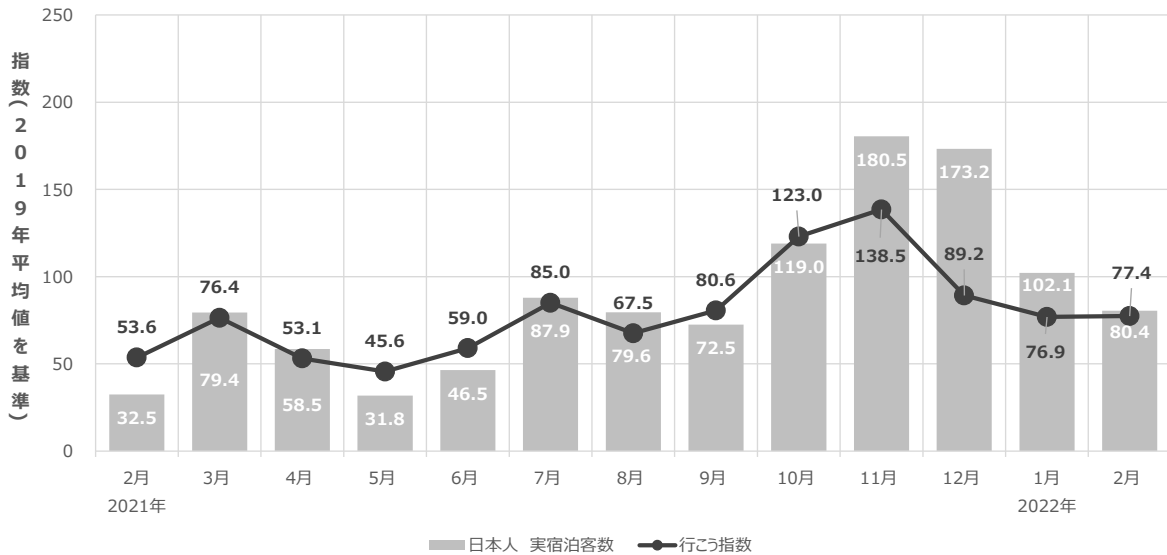
検索時に指定した 宿泊日	検索した タイミング	価格の中央値 (円)	前年同時期の 中央値 (円)	前年同期比
2022/3/12	宿泊日の 4週間前	14,000	15,410	▼ 9.1%
2022/3/19		18,475	18,859	▼ 2.0%
2022/3/26		34,650	21,596	△60.4%
2022/4/2		28,728	21,824	△31.6%
2022/4/9	宿泊日の 8週間前	20,122	23,537	▼14.5%
2022/4/16		16,000	22,356	▼28.4%
2022/4/23		13,913	20,634	▼32.6%
2022/4/30		18,400	24,825	▼25.9%
2022/5/7	宿泊日の 12週間前	18,976	19,949	▼ 4.9%
2022/5/14		21,600	19,813	△ 9.0%
2022/5/21		14,250	19,885	▼28.3%
2022/5/28		14,422	19,805	▼27.2%

(2) 京都観光意向指数（通称：行こう指数）

2-1. 日本人の訪問意向

- インターネット上における京都観光への訪問意向に関するデータをもとに集計した「行こう指数」の2022年2月の値は77.4（2019年の平均値を100とした場合）となり、前月（1月）の76.9から0.5ポイント増、前年同月の53.6からは23.8ポイント増となった。前年の指数を大きく上回ってはいるものの、昨年12月から下落が続いている。ただし、観光情報サイトの指数は3ヶ月ぶりに上昇しており、まん延防止等重点措置解除後の旅行需要の回復の兆しがみられる。
- 市内主要ホテルにおける2022年2月の実宿泊客数の指数は80.4と前月からさらに下落し、コロナ禍前の基準値（2019年の平均値である100）を下回った。これは、行こう指数と同水準である。

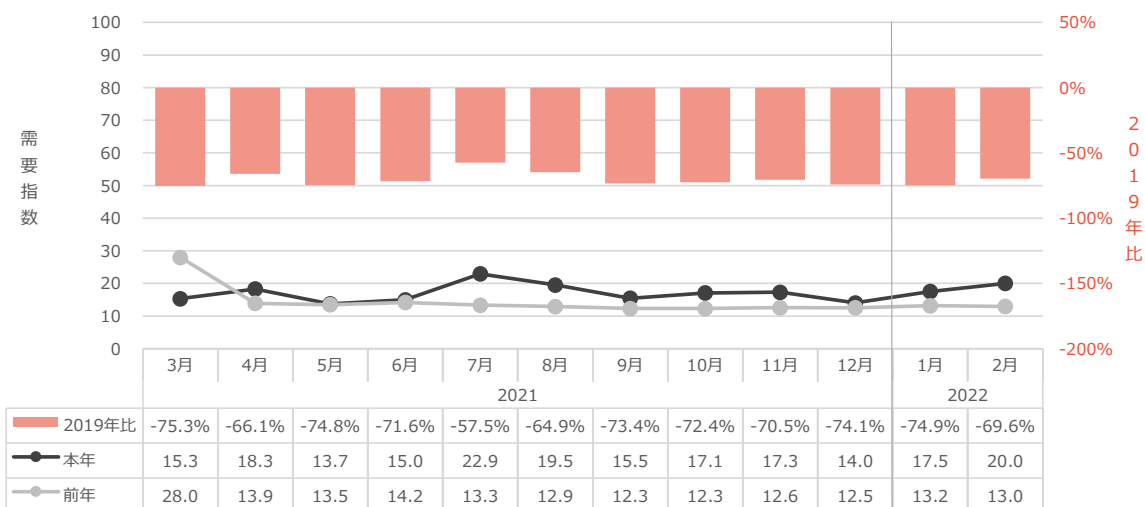
京都観光訪問意向指数（行こう指数）の推移



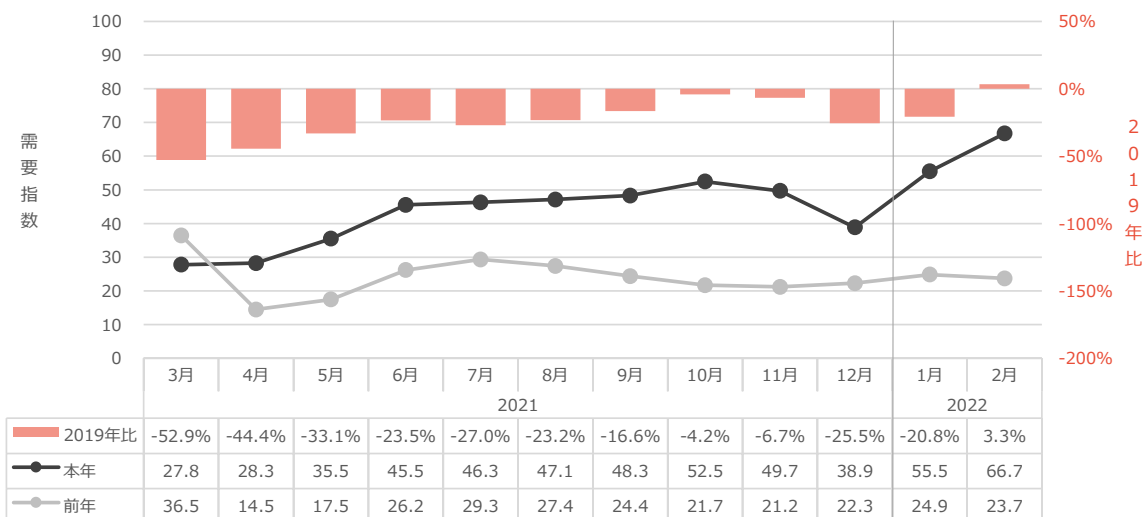
2-2. 外国人の国際旅行意向

- 全世界のインターネットユーザーによる訪日旅行に関する航空および宿泊需要の検索動向を Google 社が指数化した結果によると、2022年2月は20.0となり、年明けから上昇傾向が続いている。前年同月の13.0からは7.0ポイント増（54.3%増）となった。ただし、全世界の動向と比較すると、訪日潜在需要の回復は遅れている。
- 全世界における国際旅行に関する潜在需要（航空および宿泊需要の検索動向の指数）は、2021年4月以降、前年同月超えが続いており、今年2月はコロナ禍前3.3%増と、各国の入国制限緩和に合わせて、旅行需要が急激に高まっている。

全世界 → 日本 への宿泊・航空潜在需要
(インターネット検索量)



全世界 → 全世界 への宿泊・航空潜在需要 (国内旅行は除く)
(インターネット検索量)



出所) Google Travel Trends をもとに京都市観光協会にて集計

(3) 京都市内の宿泊施設数・客室の推移

- 2022年2月末時点の京都市内における営業許可を受けた宿泊施設の施設数は、13件開業、28件廃業、差し引き15件減少して3,596件となり、前年同月の3,801件からは5.4%の減少となった。
- 総客室数（営業許可ベース）は推定55,671室となり、2ヶ月連続で増加したものの、前年同月の55,846室からは0.3%の減少となった。

	施設数						客室数			
	ホテル・旅館 施設数	簡易宿所 施設数	総施設数	前年比	新規開業	廃業	ホテル・旅館 客室数	簡易宿所 客室数	総客室数	前年比
2014年度 (2015.3月末)	542	460	1,002	-	106	-	26,260	2,929	29,189	-
2015年度 (2016.3月末)	532	696	1,228	△22.6%	255	29	26,297	3,489	29,786	△2.0%
2016年度 (2017.3月末)	550	1,493	2,043	△66.4%	838	23	27,753	6,134	33,887	△13.8%
2017年度 (2018.3月末)	575	2,291	2,866	△40.3%	909	86	29,172	9,247	38,419	△13.4%
2018年度 (2019.3月末)	624	2,990	3,614	△26.1%	919	171	33,608	12,539	46,147	△20.1%
2019年度 (2020.3月末)	656	3,337	3,993	△10.5%	663	284	36,243	17,228	53,471	△15.9%
2020年度 (2021.3月末)	679	3,104	3,783	▼5.3%	422	632	39,729	16,454	56,183	△5.1%
2021年度途中 (2022.2月末)	688	2,908	3,596	▼4.9%	415	840	40,256	15,415	55,671	▼0.9%

	施設数						客室数			
	ホテル・旅館 施設数	簡易宿所 施設数	総施設数	前年同月 比	新規開業	廃業	ホテル・旅館 客室数	簡易宿所 客室数	総客室数	前年同月 比
2020.4月末	654	3,356	4,010	△8.9%	71	54	36,310	17,365	53,675	△13.9%
2020.5月末	655	3,329	3,984	△7.2%	30	56	36,544	17,263	53,807	△12.3%
2020.6月末	664	3,299	3,963	△5.8%	53	74	37,227	17,146	54,372	△12.3%
2020.7月末	667	3,256	3,923	△3.7%	44	84	37,576	16,960	54,536	△11.1%
2020.8月末	670	3,237	3,907	△2.7%	34	50	37,927	16,898	54,825	△10.9%
2020.9月末	673	3,221	3,894	△1.3%	38	51	38,280	16,852	55,132	△9.6%
2020.10月末	672	3,200	3,872	▼0.2%	29	51	38,406	16,779	55,185	△8.5%
2020.11月末	673	3,207	3,880	▼0.8%	28	20	38,646	16,852	55,498	△8.2%
2020.12月末	675	3,188	3,863	▼1.6%	29	46	38,944	16,789	55,734	△7.6%
2021.1月末	672	3,140	3,812	▼3.2%	11	62	38,954	16,573	55,527	△5.6%
2021.2月末	675	3,126	3,801	▼4.2%	18	29	39,311	16,535	55,846	△5.9%
2021.3月末	679	3,104	3,783	▼5.3%	37	55	39,729	16,454	56,183	△5.1%
2021.4月末	684	3,100	3,784	▼5.6%	35	34	40,022	16,433	56,454	△5.2%
2021.5月末	688	3,074	3,762	▼5.6%	20	42	40,256	16,295	56,551	△5.1%
2021.6月末	688	3,057	3,745	▼5.5%	27	44	40,256	16,205	56,460	△3.8%
2021.7月末	687	3,045	3,732	▼4.9%	13	26	40,197	16,141	56,338	△3.3%
2021.8月末	686	3,024	3,710	▼5.0%	14	36	40,139	16,030	56,169	△2.4%
2021.9月末	688	2,999	3,687	▼5.3%	17	40	40,256	15,897	56,153	△1.9%
2021.10月末	684	2,989	3,673	▼5.1%	11	25	40,022	15,844	55,866	△1.2%
2021.11月末	685	2,974	3,659	▼5.7%	13	27	40,080	15,765	55,845	△0.6%
2021.12月末	682	2,943	3,625	▼6.2%	12	46	39,905	15,601	55,505	▼0.4%
2022.1月末	685	2,926	3,611	▼5.3%	12	26	40,080	15,510	55,591	△0.1%
2022.2月末	688	2,908	3,596	▼5.4%	13	28	40,256	15,415	55,671	▼0.3%

出所)京都市 保健福祉局「旅館業法に基づく許可施設数の推移」をもとに集計

注)客室数は年度末(毎年3月末)時点しか発表されないため、それ以外の月の数値は、年度末の施設あたり客室数をもとに補完推計して算出している。

(4) ビッグデータにもとづく京都市内の人流・滞在状況

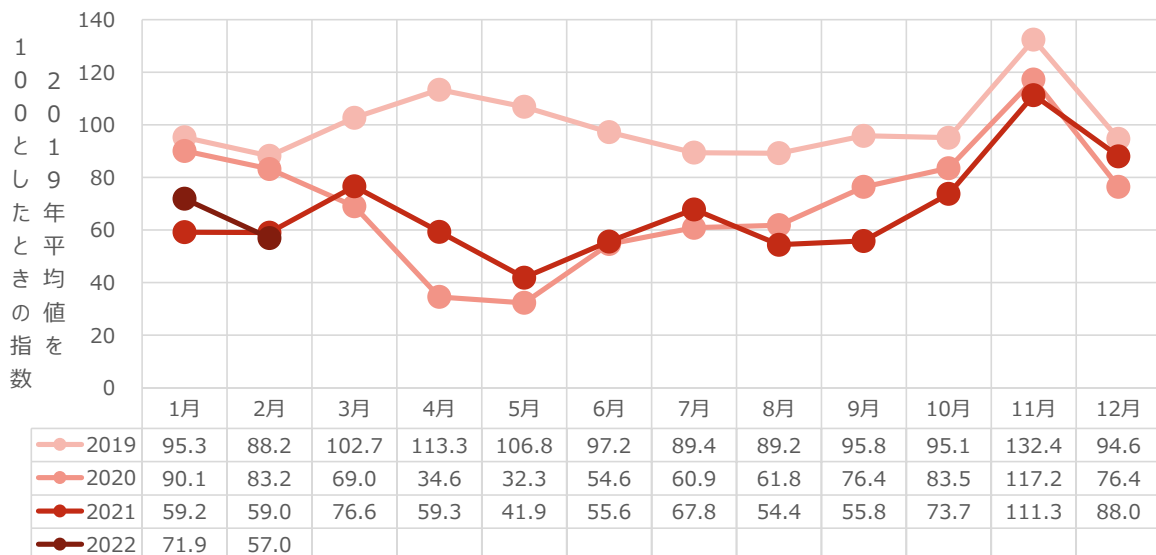
4-1. 市内来街者数の実績

京都市内の主要地点 39 箇所における来街者数※を、携帯電話の位置情報をもとにしたビッグデータから以下の通り集計した。

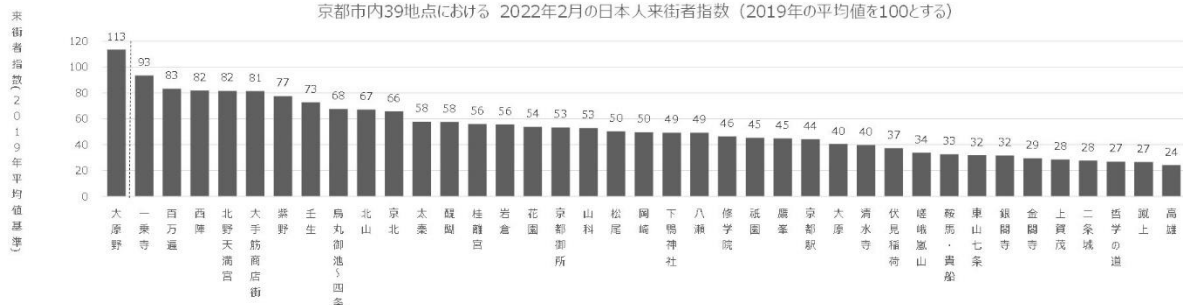
- 2022 年 2 月の来街者指数は 57.0（2019 年の平均値を 100 とした場合）となった。これは前年同月の 59.0 と同水準である。コロナ禍前である 2019 年同月の 88.2 からは 31.2 ポイント減となった。客室稼働率が前年同月から 12.5 ポイント増であったこととの乖離の要因のひとつとして、観光目的でない大学入試などの宿泊需要の存在が考えられる。
- 地点別の指数を見ると、ほぼ全てのエリアにおいて 100 を下回った。ただし、もともと観光客が多かった地点ほど、指数が下落している。

※ 測定の対象とする地域内の居住者や、通勤等の目的で頻繁に来訪・滞在する人以外で、当該地域を訪れる人の数

京都市内39地点における日本人来街者指数の推移



京都市内39地点における 2022年2月の日本人来街者指数（2019年の平均値を100とする）



出所) KDDI 社のスマートフォン位置情報 (KDDI Location Analyzer) をもとに集計

4-2. 年代別の分布

- 京都駅周辺の来街者数の前年同月比は、緊急事態宣言が発出されていた昨年2月と同水準となった。
- 年代別構成比をみると、60代以上が占める割合は26.0%と、昨年2月と同水準となり、昨年秋頃と比べると縮小した。オミクロン株により重症化を不安視した層が外出を控える傾向があったと考えられる。

京都駅周辺の来街者数の前年同月比

年	月	20代	30代	40代	50代	60代	70代～
2020	4	▼68.9%	▼71.1%	▼73.5%	▼75.8%	▼80.7%	▼88.3%
2020	5	▼68.9%	▼70.3%	▼72.8%	▼74.8%	▼78.3%	▼84.3%
2020	6	▼34.4%	▼38.8%	▼40.1%	▼43.4%	▼50.2%	▼62.0%
2020	7	▼20.0%	▼29.9%	▼33.3%	▼34.5%	▼41.3%	▼53.8%
2020	8	▼31.0%	▼41.5%	▼46.6%	▼44.2%	▼47.8%	▼55.3%
2020	9	▼19.9%	▼28.4%	▼25.9%	▼30.9%	▼35.8%	▼48.3%
2020	10	▼13.2%	▼18.4%	▼21.7%	▼23.3%	▼31.4%	▼36.2%
2020	11	▼6.5%	▼12.7%	▼9.4%	▼23.7%	▼27.0%	▼37.5%
2020	12	▼15.2%	▼31.0%	▼34.5%	▼34.0%	▼36.1%	▼45.9%
2021	1	▼40.7%	▼51.0%	▼53.6%	▼54.6%	▼60.3%	▼69.2%
2021	2	▼44.3%	▼47.6%	▼46.9%	▼49.1%	▼51.7%	▼55.1%
2021	3	▼9.5%	▼0.1%	△3.9%	△0.1%	△3.6%	△17.1%
2021	4	△96.8%	△86.9%	△88.7%	△92.3%	△99.1%	△126.0%
2021	5	△54.3%	△40.9%	△29.4%	△35.9%	△35.3%	△24.4%
2021	6	▼9.5%	▼10.2%	▼11.8%	▼14.0%	▼15.0%	▼22.1%
2021	7	△7.8%	△6.9%	△3.3%	▼1.3%	▼2.7%	△0.2%
2021	8	▼3.3%	▼6.0%	▼6.5%	▼13.3%	▼11.6%	▼18.1%
2021	9	▼29.7%	▼26.1%	▼31.4%	▼31.5%	▼31.5%	▼33.0%
2021	10	▼10.8%	▼9.7%	▼12.4%	▼12.0%	▼11.7%	▼17.0%
2021	11	▼8.5%	▼6.6%	▼4.6%	▼5.8%	▼1.1%	△1.1%
2021	12	△20.9%	△36.2%	△28.8%	△24.5%	△25.6%	△35.2%
2022	1	△34.0%	△43.1%	△39.5%	△36.4%	△39.6%	△46.3%
2022	2	△11.4%	△5.6%	△0.8%	△2.3%	△1.9%	▼2.6%

京都駅周辺の来街者の年代別構成比

年	月	20代	30代	40代	50代	60代	70代～
2020	4	21.0%	17.6%	18.7%	16.2%	15.2%	11.3%
2020	5	20.2%	17.3%	18.6%	16.2%	15.2%	12.5%
2020	6	19.6%	16.3%	17.7%	15.9%	15.9%	14.5%
2020	7	21.0%	16.7%	17.9%	16.2%	15.3%	12.9%
2020	8	22.7%	17.2%	18.2%	15.9%	14.0%	11.8%
2020	9	21.9%	16.5%	17.7%	15.7%	15.0%	13.2%
2020	10	19.3%	15.9%	17.0%	15.6%	15.9%	16.3%
2020	11	19.5%	15.5%	16.1%	15.4%	16.9%	16.7%
2020	12	22.3%	16.6%	17.6%	15.5%	15.1%	13.1%
2021	1	23.2%	17.8%	18.6%	16.0%	13.6%	10.7%
2021	2	21.4%	16.5%	18.5%	16.4%	14.7%	12.4%
2021	3	20.8%	15.8%	18.2%	16.4%	15.1%	13.8%
2021	4	21.0%	16.7%	18.0%	15.9%	15.4%	13.0%
2021	5	22.7%	17.7%	17.5%	15.9%	14.9%	11.3%
2021	6	20.5%	16.9%	18.1%	15.8%	15.6%	13.1%
2021	7	22.1%	17.4%	18.0%	15.5%	14.5%	12.6%
2021	8	24.1%	17.8%	18.7%	15.2%	13.6%	10.6%
2021	9	22.1%	17.5%	17.4%	15.5%	14.8%	12.7%
2021	10	19.6%	16.4%	17.0%	15.6%	16.0%	15.4%
2021	11	18.7%	15.1%	16.0%	15.1%	17.4%	17.6%
2021	12	21.0%	17.6%	17.7%	15.1%	14.8%	13.8%
2022	1	22.3%	18.3%	18.7%	15.7%	13.7%	11.3%
2022	2	23.0%	16.8%	18.0%	16.2%	14.4%	11.6%

出所) KDDI 社のスマートフォン位置情報 (KDDI Location Analyzer) をもとに集計

(5) 京都市内4百貨店における免税売上げ

	2022年2月	2021年2月	前年同月比	2019年2月	2019年同月比
免税件数	142件	150件	▼ 5.3%	30,352件	▼ 99.5%
免税単価	67万4,256円	66万3,348円	△ 1.6%	5万5,263円	△1120.1%
免税売上額	9,574万円	9,950万円	▼ 3.8%	16億7,735万円	▼ 94.3%
総売上額	103億7,355万円	102億9,888万円	△ 0.7%	169億0,173万円	▼ 38.6%
免税売上割合	0.9%	1.0%	▼ 0.1pts	9.9%	▼ 9.0pts

※総売上額には免税対象とならない飲食サービス売上等も含まれる（税別）

		免税売上（万円）					免税割合				
		当年	前年	前年比	2019年	2019年比	当年	前年	前年比	2019年	2019年比
2021年	1月	10,720	156,743	-93.2%	145,195	-92.6%	0.1%	0.8%	▼ 0.7	5.9%	▼ 5.8
	2月	9,973	37,753	-73.6%	167,735	-94.1%	0.1%	0.3%	▼ 0.2	9.9%	▼ 9.8
	3月	9,965	5,543	79.8%	172,657	-94.2%	0.1%	0.0%	△ 0.0	8.3%	▼ 8.2
	4月	6,160	3,885	58.5%	199,274	-96.9%	0.1%	0.1%	▼ 0.0	13.5%	▼ 13.4
	5月	13,950	2,372	488.1%	161,454	-91.4%	0.1%	0.1%	△ 0.1	9.0%	▼ 8.9
	6月	11,182	3,269	242.0%	146,483	-92.4%	0.1%	0.1%	△ 0.1	7.8%	▼ 7.7
	7月	5,773	2,295	151.5%	142,213	-95.9%	0.0%	0.0%	△ 0.0	7.3%	▼ 7.3
	8月	6,754	2,184	209.2%	124,208	-94.6%	0.1%	0.0%	△ 0.0	7.3%	▼ 7.2
	9月	7,906	679	1063.7%	118,425	-93.3%	0.1%	0.0%	△ 0.1	5.7%	▼ 5.6
	10月	11,605	1,013	1045.5%	135,393	-91.4%	0.1%	0.0%	△ 0.1	8.5%	▼ 8.4
	11月	9,366	1,729	441.6%	159,972	-94.1%	0.1%	0.0%	△ 0.0	8.0%	▼ 7.9
	12月	10,896	6,210	75.5%	142,600	-92.4%	0.0%	0.0%	△ 0.0	5.5%	▼ 5.5
2022年	1月	12,341	10,677	15.6%	122,300	-89.9%	0.8%	0.8%	△ 0.0	6.2%	▼ 5.4
	2月	9,574	9,950	-3.8%	167,735	-94.3%	0.9%	1.0%	▼ 0.1	9.9%	▼ 9.0

注) 前月（2021年12月）に発表していた「免税割合」の数値が誤りがあった為、正しい数値に訂正しております。

免税売上額に占める国・地域別割合（構成比）

順位	2022年2月				2021年2月	
	国・地域名	構成比	前年同月比	2019年同月比	国・地域名	構成比
1	中国	91.0%	▼ 0.90ポイント	▼ 6.90ポイント	中国	90.1%
2	韓国	0.06%	▼ 0.64ポイント	▼ 2.34ポイント	台湾	3.7%
3	スペイン	0.04%	△ 0.04ポイント	△ 0.04ポイント	韓国	0.7%
4	台湾	0.02%	▼ 3.68ポイント	▼ 4.88ポイント	メキシコ	0.04%
5	—	—	—	—	アメリカ	0.02%

注) 2年以上外国に滞在する日本人が一時帰国し、入国後6ヵ月未満である場合も免税対象となる。これに該当する免税売上は国・地域別構成比の計算に含めているが、ランキングからは除外している。

(6) 京都総合観光案内所（京なび）利用者数 ※JR 京都駅ビル2階

相談者数 (人)	2022年 2月	2022年 1月	前月比	2021年 2月	前年 同月比	2019年 2月	2019年 同月比
日本人	6,094	8,564	▼ 28.8%	4,612	△ 32.1%	30,073	▼ 79.7%
外国人	124	263	▼ 52.9%	134	▼ 7.5%	17,089	▼ 99.3%
合計	6,218	8,827	▼ 30.0%	4,746	△ 31.0%	47,162	▼ 86.8%
外国人 比率	2.0%	3.0%	▼ 1.0pts	2.8%	△ 0.8pts	36.2%	▼34.2pts
来所者数 (自動カウント 機による)	20,191	26,257	▼ 23.1%	16,997	△ 18.8%	97,711	▼ 79.3%

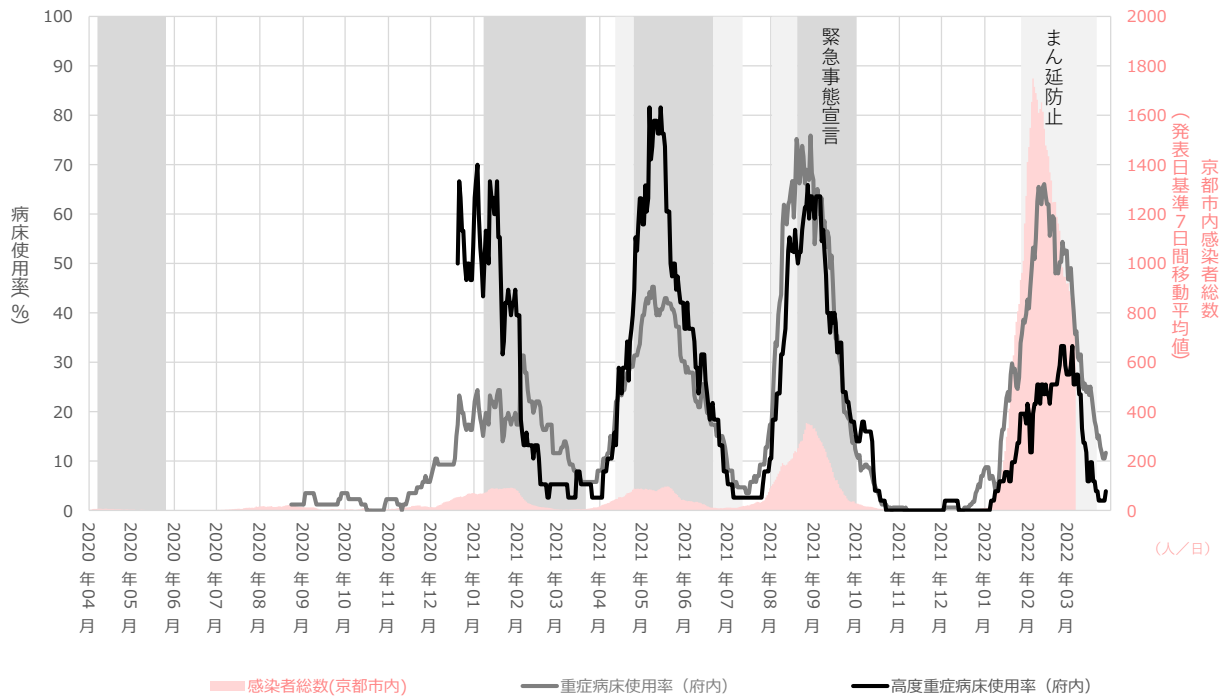
外国人相談者における国・地域別割合

順位	2022年2月		2022年1月		2021年2月		2019年2月	
	国・地域名	構成比	国・地域名	構成比	国・地域名	構成比	国・地域名	構成比
1	中国	30.8%	フィリピン	11.6%	アメリカ	25.2%	中国	27.4%
2	イギリス	18.7%	中国	7.2%	中国	25.2%	韓国	16.0%
3	タイ	12.1%	タイ	7.2%	韓国	8.1%	台湾	10.2%
4	アメリカ	12.1	インド	7.2%	インド	8.1%	オーストラリア	5.9%
5	イタリア	6.6%	インドネシア	7.2%	ベトナム	8.1%	アメリカ	5.1%

(7) 京都府内の新型コロナウイルス感染症 重症者病床使用率

- 2月はオミクロン株拡大によって感染者が一時高止まりしていたが、徐々に感染者数が減少した。3月末時点で、京都府における病床使用率は約25%、重症病床使用率は約5%となった。
- 3月29日時点での京都市内の3回目のワクチン接種率は43.3%となっている。3月から集団接種会場が追加され、接種率が上昇している。

京都府内の新型コロナウイルス感染症 重症者病床使用率



※病床数の母数は、病床の追加に伴い変動しています。

※高度重症病床の重症者とは、人工呼吸器・ECMOによる管理が必要な患者です。

※重度病床の重症者数には、高度重症病床の重症者数を含めて計上しています。

出所) 京都市情報館 新型コロナウイルス感染症(京都市内における感染状況)

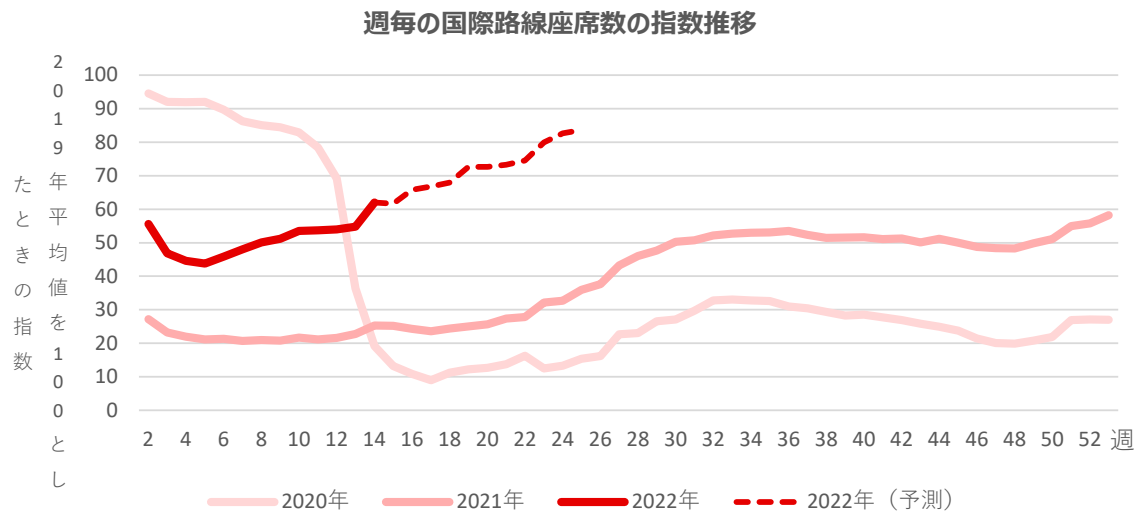
京都市内の新型コロナウイルス感染症ワクチン接種状況

	京都	全国
2回目接種率(全体)	84.3%	74.8%
2回目接種率(うち、65歳以上)	92.1%	92.5%
3回目接種率(全体)	43.3%	40.4%

出所) 京都市情報館「新型コロナウイルスワクチン接種について」、デジタル庁「新型コロナワクチンの接種状況」(京都市[令和4年3月29日]、全国[令和4年3月29日] VRS情報)

(8) 国際線の航空定期路線の座席数の推移

- 全世界における週毎の国際路線座席数の指数（2019年平均値を100とした場合）の推移をみると、6週目（2月2週目）頃から直近14週目（3月4週目）まで上昇傾向にある。オミクロン株の影響が少なくなり、各国の入国制限が緩和された影響と考えられる。
- 今後の座席数も右肩上がりで推移する見込みである。



出所) OAG_Covid19_Aviation_Data_28March2022

(9) 為替レートの推移

月平均Telegraphic Transfer Buying (「外貨」を「円」に交換するときのレート)

数値が小さくなるほど円高となり、外国人が訪日旅行をする際不利となる

時点	米ドル	ユーロ	英ポンド	豪ドル	香港ドル	台湾ドル	中国 人民元	タイ バーツ	韓国 ウォン	
2019	1月	108.0	123.0	136.8	76.0	13.5	0.281	15.8	3.35	9.5
	2月	109.4	123.8	139.6	76.9	13.6	0.277	16.1	3.45	9.7
	3月	110.2	124.2	142.6	76.7	13.7	0.275	16.3	3.43	9.6
	4月	110.7	124.1	141.7	77.6	13.8	0.274	16.3	3.43	9.6
	5月	108.9	121.4	136.8	74.2	13.6	0.282	15.6	3.38	9.1
	6月	107.1	120.5	133.0	73.1	13.4	0.288	15.4	3.39	9.0
	7月	107.3	120.0	131.2	73.6	13.4	0.293	15.4	3.44	9.0
	8月	105.3	116.8	125.3	70.0	13.1	0.288	14.7	3.38	8.6
	9月	106.5	116.7	128.5	71.1	13.3	0.288	14.8	3.43	8.8
	10月	107.2	117.9	132.4	71.4	13.4	0.282	14.9	3.48	8.9
	11月	107.9	118.8	136.3	72.3	13.5	0.278	15.2	3.52	9.1
	12月	108.2	119.8	139.0	73.1	13.6	0.272	15.3	3.54	9.1
2020	1月	108.4	119.9	138.9	72.9	13.6	0.272	15.5	3.51	9.2
	2月	109.0	118.5	138.7	71.4	13.7	0.272	15.4	3.44	9.0
	3月	106.4	117.5	129.2	65.0	13.4	0.278	15.0	3.28	8.6
	4月	107.0	115.9	130.0	65.8	13.5	0.276	15.0	3.23	8.6
	5月	106.4	115.5	127.8	68.1	13.4	0.277	14.8	3.27	8.6
	6月	106.6	119.6	130.8	72.1	13.5	0.274	14.9	3.37	8.7
	7月	105.8	120.7	131.1	73.0	13.4	0.273	14.9	3.33	8.7
	8月	105.1	123.9	135.3	74.3	13.3	0.275	15.0	3.32	8.8
	9月	104.8	123.2	133.3	74.5	13.2	0.274	15.2	3.29	8.8
	10月	104.3	122.4	132.6	73.0	13.2	0.270	15.4	3.29	9.0
	11月	103.4	122.0	133.9	73.9	13.0	0.271	15.5	3.35	9.2
	12月	102.8	124.7	135.4	76.0	13.0	0.269	15.6	3.37	9.3
2021	1月	102.7	124.7	137.5	78.1	12.9	0.268	15.7	3.38	9.3
	2月	104.4	125.9	141.9	79.6	13.2	0.263	16.1	3.44	9.3
	3月	107.6	127.9	146.6	81.8	13.6	0.257	16.4	3.45	9.4
	4月	108.1	128.9	147.0	82.0	13.6	0.257	16.4	3.41	9.6
	5月	108.2	131.2	150.0	82.8	13.6	0.250	16.7	3.41	9.5
	6月	109.1	131.3	150.6	82.2	13.8	0.250	16.9	3.43	9.6
	7月	109.3	128.9	148.4	80.0	13.8	0.252	16.7	3.30	9.5
	8月	108.9	127.8	147.6	78.2	13.7	0.251	16.7	3.24	9.3
	9月	109.2	128.3	147.5	78.7	13.7	0.249	16.8	3.26	9.2
	10月	112.1	129.7	150.8	81.6	14.1	0.245	17.3	3.30	9.4
	11月	113.1	128.8	149.6	81.5	14.2	0.242	17.6	3.37	9.5
	12月	112.9	127.2	147.4	79.4	14.2	0.242	17.6	3.32	9.4
2022	1月	113.9	128.5	151.7	80.5	14.3	0.239	17.8	3.38	9.4
	2月	114.2	129.1	151.9	80.4	14.3	0.239	17.9	3.45	9.4

※韓国ウォンは100ウォンあたりのレート

出所) 三菱UFJリサーチ&コンサルティング 外国為替相場

宿泊状況調査結果詳細 (2022年2月)

(公社)京都市観光協会
(公財)京都文化交流コンベンションビューロー

国・地域		2022年(2月)														
		実人数					延べ人数					延べ部屋数				
		2022	2021	伸率	2022 構成比	2021 構成比	2022	2021	伸率	2022 構成比	2021 構成比	2022	2021	伸率	2022 構成比	2021 構成比
北米	アメリカ	138	60	131.6%	34.2%	15.3%	372	198	88.1%	41.5%	28.9%	190	148	28.4%	34.7%	25.8%
	カナダ	3	8	-66.9%	0.6%	2.0%	23	14	70.4%	2.6%	2.0%	20	7	185.7%	3.7%	1.2%
	北米小計	140	67	108.9%	34.9%	17.3%	395	211	87.0%	44.0%	30.9%	210	155	35.5%	38.4%	27.0%
中南米	メキシコ	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
	ブラジル	2	2	0.0%	0.5%	0.5%	3	6	-50.0%	0.3%	0.9%	2	3	-33.3%	0.4%	0.5%
	その他	0	2	-100.0%	0.0%	0.5%	0	2	-100.0%	0.0%	0.3%	0	1	-100.0%	0.0%	0.2%
	南米小計	2	4	-50.0%	0.5%	1.0%	3	8	-62.5%	0.3%	1.2%	2	4	-50.0%	0.4%	0.7%
ヨーロッパ	イギリス	5	4	25.0%	1.2%	1.0%	12	8	50.0%	1.3%	1.2%	6	4	50.0%	1.1%	0.7%
	フランス	18	10	79.3%	4.4%	2.5%	42	31	35.5%	4.7%	4.5%	30	21	42.9%	5.5%	3.7%
	ドイツ	1	6	-76.2%	0.3%	1.4%	24	37	-35.1%	2.7%	5.4%	14	14	0.0%	2.6%	2.4%
	イタリア	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
	オランダ	2	1	100.0%	0.5%	0.3%	2	1	100.0%	0.2%	0.1%	2	1	100.0%	0.4%	0.2%
	スペイン	0	3	-100.0%	0.0%	0.8%	0	6	-100.0%	0.0%	0.9%	0	3	-100.0%	0.0%	0.5%
	スイス	4	2	100.0%	1.0%	0.5%	8	4	100.0%	0.9%	0.6%	8	3	166.7%	1.5%	0.5%
	スウェーデン	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	4	0	100.0%	0.4%	0.0%	2	0	100.0%	0.4%	0.0%
	フィンランド	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
	ロシア	1	3	-66.7%	0.2%	0.8%	1	3	-66.7%	0.1%	0.4%	1	3	-66.7%	0.2%	0.5%
	その他	7	29	-75.9%	1.7%	7.5%	21	109	-80.7%	2.3%	16.0%	14	109	-87.2%	2.6%	19.0%
ヨーロッパ小計	38	57	-33.8%	9.4%	14.8%	114	199	-42.7%	12.7%	29.1%	77	158	-51.3%	14.1%	27.5%	
東アジア	中国	46	113	-59.8%	11.3%	29.1%	121	67	80.6%	13.5%	9.8%	70	108	-35.2%	12.8%	18.8%
	台湾	1	17	-94.1%	0.2%	4.4%	1	18	-94.4%	0.1%	2.6%	1	18	-94.4%	0.2%	3.1%
	香港	0	5	-100.0%	0.0%	1.3%	6	0	100.0%	0.7%	0.0%	4	2	100.0%	0.7%	0.3%
	韓国	5	10	-47.4%	1.3%	2.6%	17	21	-19.0%	1.9%	3.1%	15	16	-6.2%	2.7%	2.8%
	東アジア小計	52	145	-64.2%	12.9%	37.3%	145	106	36.8%	16.2%	15.5%	90	144	-37.5%	16.5%	25.1%
東南アジア	フィリピン	0	2	-100.0%	0.0%	0.5%	0	4	-100.0%	0.0%	0.6%	0	4	-100.0%	0.0%	0.7%
	ベトナム	0	9	-100.0%	0.0%	2.3%	4	12	-66.7%	0.4%	1.8%	2	8	-75.0%	0.4%	1.4%
	タイ	12	1	1100.0%	3.0%	0.3%	12	4	200.0%	1.3%	0.6%	6	4	50.0%	1.1%	0.7%
	インドネシア	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
	マレーシア	2	0	100.0%	0.5%	0.0%	4	0	100.0%	0.4%	0.0%	4	0	100.0%	0.7%	0.0%
	シンガポール	14	11	27.3%	3.5%	2.8%	25	44	-43.4%	2.8%	6.4%	11	33	-66.7%	2.0%	5.7%
	インド	0	2	-100.0%	0.0%	0.5%	0	2	-100.0%	0.0%	0.3%	0	1	-100.0%	0.0%	0.2%
	その他	28	32	-12.6%	6.9%	8.2%	37	34	8.8%	4.1%	5.0%	28	23	21.7%	5.1%	4.0%
東南アジア小計	56	57	-1.7%	13.8%	14.6%	82	100	-18.1%	9.1%	14.6%	51	73	-30.1%	9.3%	12.7%	
中東	イスラエル	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
	カタール	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
	UAE	7	2	250.0%	1.7%	0.5%	7	0	100.0%	0.8%	0.0%	3	1	200.0%	0.5%	0.2%
	サウジアラビア	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
	トルコ	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
	その他	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
	中東小計	7	2	250.0%	1.7%	0.5%	7	0	100.0%	0.8%	0.0%	3	1	200.0%	0.5%	0.2%
オセアニア	オーストラリア	2	6	-71.7%	0.4%	1.5%	17	6	183.3%	1.9%	0.9%	8	3	166.7%	1.5%	0.5%
	ニュージーランド	0	7	-100.0%	0.0%	1.8%	0	7	-100.0%	0.0%	1.0%	0	3	-100.0%	0.0%	0.5%
	その他	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
	オセアニア小計	2	13	-86.9%	0.4%	3.4%	17	13	30.8%	1.9%	1.9%	8	6	33.3%	1.5%	1.0%
アフリカ	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	2	0	100.0%	0.2%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	
海外その他	106	43	148.8%	26.3%	11.0%	132	46	187.0%	14.7%	6.7%	106	33	221.2%	19.4%	5.7%	
外国人合計	403	388	3.9%			897	683	31.2%			547	574	-4.7%			
日本人合計	146,624	73,195	100.3%			241,185	121,718	98.2%			161,140	83,355	93.3%			
合計	147,026	73,583	99.8%			242,081	122,401	97.8%			161,687	83,929	92.6%			

	2022	2021	伸率・前年同月差
販売可能客室数	503,387室	427,216室	17.8%
稼働客室数	161,687室	83,929室	92.6%
稼働率	32.1%	19.6%	12.5ポイント増
外国人比率 (延べ人数ベース)	0.4%	0.6%	0.2ポイント減
外国人比率 (延べ部屋数ベース)	0.3%	0.7%	0.4ポイント減

(注)実人数もしくは延べ人数の集計がない施設の数値については、回答のあった施設の平均値(国・地域別)をもとに算出。小数点第一位未満を四捨五入しているため、合計と一致しない場合がある。

(1)調査時期: 2022年2月1日~2022年2月28日

(2)対象施設数: 103ホテル(18,177室)

宿泊状況調査結果詳細 (2022年1月～2月累計)

(公社)京都市観光協会
(公財)京都文化交流コンベンションビューロー

国・地域		2022年(1月～2月)														
		実人数					延べ人数					延べ部屋数				
		2022	2021	伸率	2022 構成比	2021 構成比	2022	2021	伸率	2022 構成比	2021 構成比	2022	2021	伸率	2022 構成比	2021 構成比
北米	アメリカ	289	129	124.4%	34.1%	19.3%	722	455	58.6%	85.1%	68.1%	345	284	21.5%	40.7%	42.5%
	カナダ	8	8	-2.1%	0.9%	1.2%	35	22	61.2%	4.1%	3.2%	27	16	68.8%	3.2%	2.4%
	北米小計	297	137	117.3%	35.0%	20.4%	757	477	58.7%	89.2%	71.3%	372	300	24.0%	43.8%	44.9%
中南米	メキシコ	0	0	#DIV/0!	0.0%	0.0%	0	0	#DIV/0!	0.0%	0.0%	0	0	#DIV/0!	0.0%	0.0%
	ブラジル	5	4	30.9%	0.6%	0.6%	44	8	450.0%	5.2%	1.2%	27	4	575.0%	3.2%	0.6%
	その他	2	2	0.0%	0.2%	0.3%	5	2	150.0%	0.6%	0.3%	5	1	400.0%	0.6%	0.1%
	南米小計	7	6	20.6%	0.9%	0.9%	49	10	390.0%	5.8%	1.5%	32	5	540.0%	3.8%	0.7%
ヨーロッパ	イギリス	5	9	-44.4%	0.6%	1.3%	16	13	23.1%	1.9%	1.9%	8	8	0.0%	0.9%	1.2%
	フランス	54	13	321.4%	6.4%	1.9%	90	56	60.7%	10.6%	8.4%	77	42	83.3%	9.1%	6.3%
	ドイツ	5	7	-25.3%	0.6%	1.1%	32	57	-43.9%	3.8%	8.5%	20	28	-28.6%	2.4%	4.2%
	イタリア	0	0	#DIV/0!	0.0%	0.0%	0	0	#DIV/0!	0.0%	0.0%	0	0	#DIV/0!	0.0%	0.0%
	オランダ	2	3	-33.3%	0.2%	0.4%	2	7	-71.4%	0.2%	1.0%	2	4	-50.0%	0.2%	0.6%
	スペイン	0	3	-100.0%	0.0%	0.4%	0	12	-100.0%	0.0%	1.8%	0	6	-100.0%	0.0%	0.9%
	スイス	4	2	100.0%	0.5%	0.3%	12	4	200.0%	1.4%	0.6%	10	3	233.3%	1.2%	0.4%
	スウェーデン	0	0	#DIV/0!	0.0%	0.0%	4	0	#DIV/0!	0.5%	0.0%	2	0	#DIV/0!	0.2%	0.0%
	フィンランド	0	0	#DIV/0!	0.0%	0.0%	0	0	#DIV/0!	0.0%	0.0%	0	0	#DIV/0!	0.0%	0.0%
	ロシア	5	3	66.7%	0.6%	0.4%	12	11	9.1%	1.4%	1.6%	8	11	-27.3%	0.9%	1.6%
	その他	17	32	-46.6%	2.0%	4.7%	57	134	-57.5%	6.7%	20.0%	46	128	-64.1%	5.4%	19.1%
ヨーロッパ小計	92	72	29.2%	10.9%	10.7%	225	294	-23.5%	26.5%	44.0%	173	230	-24.8%	20.4%	34.4%	
東アジア	中国	104	198	-47.5%	12.2%	29.6%	289	900	-67.9%	34.1%	134.7%	193	890	-78.3%	22.7%	133.1%
	台湾	9	33	-72.8%	1.1%	4.9%	19	61	-68.9%	2.2%	9.1%	21	44	-52.3%	2.5%	6.6%
	香港	6	9	-33.3%	0.7%	1.3%	18	0	#DIV/0!	2.1%	0.0%	9	4	125.0%	1.1%	0.6%
	韓国	19	13	42.5%	2.3%	2.0%	31	34	-8.8%	3.7%	5.1%	22	25	-12.0%	2.6%	3.7%
	東アジア小計	138	253	-45.5%	16.3%	37.9%	357	995	-64.1%	42.1%	148.9%	245	963	-74.6%	28.9%	144.0%
東南アジア	フィリピン	8	5	60.0%	0.9%	0.7%	8	10	-20.0%	0.9%	1.5%	4	6	-33.3%	0.5%	0.9%
	ベトナム	1	19	-94.7%	0.1%	2.8%	5	22	-77.3%	0.6%	3.3%	3	15	-80.0%	0.4%	2.2%
	タイ	22	11	109.5%	2.6%	1.6%	27	42	-35.7%	3.2%	6.3%	14	27	-48.1%	1.7%	4.0%
	インドネシア	0	2	-100.0%	0.0%	0.3%	0	5	-100.0%	0.0%	0.7%	0	2	-100.0%	0.0%	0.3%
	マレーシア	4	0	#DIV/0!	0.5%	0.0%	10	15	-33.3%	1.2%	2.2%	7	3	133.3%	0.8%	0.4%
	シンガポール	34	19	78.9%	4.0%	2.8%	55	52	5.6%	6.5%	7.8%	23	45	-48.9%	2.7%	6.7%
	インド	3	4	-25.0%	0.4%	0.6%	10	26	-61.5%	1.2%	3.9%	6	13	-53.8%	0.7%	1.9%
	その他	47	65	-27.0%	5.6%	9.7%	76	127	-40.2%	9.0%	19.0%	60	109	-45.0%	7.1%	16.3%
東南アジア小計	119	124	-4.0%	14.1%	18.6%	191	299	-36.2%	22.5%	44.7%	117	220	-46.8%	13.8%	32.9%	
中東	イスラエル	0	0	#DIV/0!	0.0%	0.0%	0	0	#DIV/0!	0.0%	0.0%	0	0	#DIV/0!	0.0%	0.0%
	カタール	0	0	#DIV/0!	0.0%	0.0%	0	0	#DIV/0!	0.0%	0.0%	0	0	#DIV/0!	0.0%	0.0%
	UAE	7	5	40.0%	0.8%	0.7%	7	0	#DIV/0!	0.8%	0.0%	3	2	50.0%	0.4%	0.3%
	サウジアラビア	0	0	#DIV/0!	0.0%	0.0%	0	0	#DIV/0!	0.0%	0.0%	0	0	#DIV/0!	0.0%	0.0%
	トルコ	0	0	#DIV/0!	0.0%	0.0%	0	0	#DIV/0!	0.0%	0.0%	0	0	#DIV/0!	0.0%	0.0%
	その他	0	0	#DIV/0!	0.0%	0.0%	2	2	0.0%	0.2%	0.3%	1	1	0.0%	0.1%	0.1%
	中東小計	7	5	40.0%	0.8%	0.7%	9	2	350.0%	1.1%	0.3%	4	3	33.3%	0.5%	0.4%
オセアニア	オーストラリア	2	7	-75.7%	0.2%	1.0%	19	8	137.5%	2.2%	1.2%	9	5	80.0%	1.1%	0.7%
	ニュージーランド	0	7	-100.0%	0.0%	1.0%	0	7	-100.0%	0.0%	1.0%	0	3	-100.0%	0.0%	0.4%
	その他	0	7	-100.0%	0.0%	1.0%	0	21	-100.0%	0.0%	3.1%	0	21	-100.0%	0.0%	3.1%
	オセアニア小計	2	21	-91.9%	0.2%	3.1%	19	36	-47.2%	2.2%	5.4%	9	29	-69.0%	1.1%	4.3%
アフリカ	1	0	#DIV/0!	0.1%	0.0%	7	1	600.0%	0.8%	0.1%	5	1	400.0%	0.6%	0.1%	
海外その他	185	51	261.9%	21.8%	7.6%	237	80	196.3%	27.9%	12.0%	190	54	251.9%	22.4%	8.1%	
外国人合計	848	669	26.9%			1,851	2,194	-15.7%			1,147	1,805	-36.5%			
日本人合計	332,791	140,255	137.3%			518,836	218,605	137.3%			342,727	148,250	131.2%			
合計	333,640	140,924	136.8%			520,687	220,799	135.8%			343,874	150,055	129.2%			

	2022	2021	伸率・前年同月差
販売可能客室数	1,057,568室	922,690室	14.6%
稼働客室数	343,874室	150,055室	129.2%
稼働率	32.5%	16.3%	16.2ポイント減
外国人比率 (延べ人数ベース)	0.4%	1.0%	0.6ポイント減
外国人比率 (延べ部屋数ベース)	0.3%	1.2%	0.9ポイント減

(注)実人数もしくは延べ人数の集計がない施設の数値については、回答のあった施設の平均値(国・地域別)をもとに算出。

(1)調査時期:2022年1月1日～2022年2月28日
(2)回答施設数:【2022年】1月(101ホテル,17,923室)、2月(103ホテル18,177室)